社説

諸外國も體驗した筈
支那の國民性と其慣用手段

今改めて云ふまでもなく、日本が上海に出兵したのは、我居留民の生命財産を保護せんが爲めの自衛手段に外ならぬ。吾人の繰返へして云ふ如く、支那は從來より種々の手段を以て排日を敢てした。或は日本を侮辱するが如きポスターを市中に貼附けたり、或は日貨を排斥し、之を取扱ふ商人に對して危害を加へんとさへ企てた。されども日本政府を始め、在留邦人は、是まで默して隱忍自重して來た。然るに之を見た支那人は、之れを以て日本が何等爲す能はざるものと誤解し、相擧つて益々增長し、殆んど傍若無人の亂暴を働くに至つた。而して終には日本の托鉢僧數名を殺傷するに至つた。是れ尚忍ぶべし、彼等が其の機關新聞をして、我皇室に對する不敬極まる記事を掲載せしめ、恬として顧みる所なきに至つては、吾人は終に忍ぶことが出來なくなつたのである。茲に於て我政府は遂に海軍陸戰隊を上陸せしめた。而も彼等は尚反省せず、例の陰險極まる多數の便衣隊を放つて、濱行的に益々邦人を迫害するに至つたので據なく陸兵を派遣し、上海をして今日の狀態に陷らしめたのである。即ち上海の現狀は、支那が自ら之を招きたるもので、日本は單に自衛手段を講じたるに止まる。此事は日本政府も度々中外に向つて説明したところである。單にジユネーヴの國際聯盟に於て、繰返へし説明したるのみならず、聯盟に無關係の米國に對しても度々釋明した筈である。其外東京でも上海でも、到る處、又機會ある毎に、反覆説明した筈である。のみならず吾國を始め全國の言論機關は、此點につきて可なり丁寧に説明し、論述もしたのである。從つて近來這般の事情が幾分か諸外國に於て諒解せられんとする傾向を生ずるに至つたとはいへ、尚頗る不徹底の嫌あるは、吾人の大に遺憾とするところである。是れが即ち認識不足と謂ふ所以である。◇

元來、支那人の增長し易き國民性を有することは、著明なる事實である。此事情を最も能く知悉し、之を最も多く體驗せるものは我日本に外ならぬが、實は英國の如きも過去に於て此點に就て相當に苦き經驗を嘗めた。其の一例を云へば、一九二七年の漢口事件が夫れである。當時英國同地騷亂に際し、英國總領事に對して強硬な談判を開始、陸戰隊の引揚、義勇隊の武裝解除を要求した。然るに國民政府之を軍事政治學校の宣傳隊と衝突して居り、其陸戰隊と支那兵との衝突に至つた。其結果漢口は事件となり、英國の總領事館は支那兵のために包圍され、總領事館は斷操なく國旗を撤して軍艦に避難するに至つた。而して此報一度び傳はるや、全國に於ける支那人の鼻息は一層荒くなり、排英氣分は長江一體に漲りたるに至り、英國は以て與みし易しとなし、却つて排英の氣勢を揚ぐるに至つた。……十分支那政府の慣用手段と、其の國民性とを體驗したる筈。當時之れを目睹し居たる其の他の外人も、十分に此事情を認識したる筈。而して之を體驗し、又は之を認識したる諸外國は、日本の今回の上海事件に就いても大に日本の立場に同情すべき筈と思ふ。如何。◇

支那政府の從來の慣用手段、並びに支那の國民性は以上述ぶる所の如くである。故に今回の上海事件の如き、日本にして若し理由なしに撤退せんか、支那人は日本與みし易しとなし、大に虛勢を張り、全國民を煽動して、果ては事件發生前よりも一層甚しき排日侮日的行爲を敢へてして憚らざるに至るべし。是れ吾人の堪へざるところ、同時に縱ひ諸外國の勸告あるも、相當の理由と條件なくしては、日本の到底撤兵し能はざる所以である。而してこれが爲に迷惑を蒙むるものは、獨り日本のみではない。增長し易き支那人は、獨り日本を侮蔑するのみでなく更に歐米國をも輕侮するに至ること火を睹るよりも明かである。而して他日彼等は、今日の日本と同樣の迷惑を蒙るに相違ない。然るにも拘らず歐米の中には、今回の上海事件に關して、動もすれば支那に同情し、却つて日本を制せんと試むるものあるは寧ろ吾人の不可解とする所である。今日我國を制し、支那をして一層增長せしめんと欲するものは、恰かも風上の火事を消し止めんともせず、却つて之が防火壁を撤去せんとするが如き愚處の至りである。吾人は切に彼等の反省を望まざるを得ない。

責任が餘りに重大で輕々には承諾し難い
一應辭退した溥儀氏の意向を齎らして各代表歸奉

各省代表特派使節張燕卿氏等一行六名は一日午後二時溥儀氏と會見しその出廬を要請した然るに氏は余が新國家の元首となればそれは一身の富貴のために非ずして東北四省三千萬民衆のためである、然るに現下の東北四省の現狀を見るに政治に經驗乏しき余として果して民衆の期待に副ひ得るや否やに考へ及べばその責任は餘りに重大にして輕々には承諾しかねるといふ理由で一應辭退した、右會見後張燕卿氏は語る

溥儀氏とは約二十分間に亘り會見したが東北行政委員會の決議により新國家元首としてその出廬を懇請したところ氏は頗る御謙讓の態度で辭退された、然し我々としては御承諾を得るまで何回でもご運動を續ける筈である、晩または明朝歸奉の上あらためて東北行政委員會を召集し張景惠委員長並びに蒙古王等の出馬を促し協議の上再度溥儀氏に對し之を懇請する心組で來る十五日までにはどうあつても承諾を願はねばならぬ、目下の東北四省の民族を學問的に分類すれば滿、漢、蒙、呼倫貝爾、鮮等二十餘族にしてこれを一括して號令威服せしめる力あるもの同氏に非ざれば他に人はない、名義の如きもお氣に召さぬ處があれば何んとでも考慮するつもりである（話）

新政府の廳舍
解氷期を待ち起工豫定

滿洲新政府は大同二年度以降繼續事業として工費一千萬圓の豫算で政府廳舍の新築を行ふこと〻なり雪解けを待つて起工の豫定であるしかしてこの內命を受けた長春縣政府は敷地を杏花村に選び目下詮衡中であるがこのため同方面地價は一時に暴騰し人民は景氣來に狂喜してゐる【長春電話】

中央銀行總辦 吳恩培氏任命

中央銀行は建國式と同時に開業する事となり奉天は長春官銀號分店に設けらるべく諸般の準備を進めて居るなほ總辦には官銀號總辦吳恩培氏が任命された【奉天電話】

建國欣快に堪へぬ
張景惠委員長語る

建國宣言發表を終へた張景惠委員長は重任を果し心安さを面にた〻へて語る【奉天電話】
二月十八日東北行政委員會が新國家領域の各代表によつて組織され鋭意新國家建設に努力し東北三千萬民衆また熱烈に建國を要望して猛烈な促進運動を行つた結果こ〻に本日建國を見るにいたつたことはお互に欣快に堪へぬ、建國の精神は宣言書にある通り對內的には王道主義をもつて善政を行ひ、對外的に東亞永遠の平和を謀り中華民國がすでに締結せる條約を繼承して國際信義を明かにすると同時に機會均等、門戶開放の實を行ふため外資を歡迎し現住民族以外の民族でも永住希望者は徹底的に保護し以つて東亞の樂土を建設する

滿洲國政府の各廳舍決る
長春に首都創設と共にそれぐ配置されん

滿洲國新政府一府、三院、七部並に近衛隊、警視廳の各廳舍は二十九日夜深更まで繼續された準備委員會で詮衡に詮衡を重ねた結果左の如く最後的決定を見、長春に首都創設と共にそれぐこれに配置される事になつた

- 執政府　泰平街吉黑權運送局跡
- 國務院　西四馬路舊陸軍病院跡
- 立法院　東四道街長春鎭守支廳跡
- 監察院　永長路舊某國領事館跡
- 民政部　支部公園內被服廠跡
- 外交部　七馬路市政府跡
- 陸軍部　西四道街道勝銀行跡
- 財政部　北大街東三省官銀號支店跡
- 交通部　西四道街吉長儲蓄會跡
- 教育部　三道街第二師範學校跡
- 事業部　北大街殖邊銀行
- 近衛隊　北大街永功謙昇支部大商店跡
- 警視廳　北門街現公安局

なほ國民議會議事堂は引續き物色中で未だ決定に至らない【長春電話】

東北行政委員會
宣言と共に解散

東北行政委員會は二月十八日以來東北三千萬民衆の芯棒になつて滿蒙新國家建設に必要なる準備を行つたが三月一日建國宣言發布せらるに至り元首推戴、建國式擧行等の重要案件も全部完了の運びとなるに至つたので一日の建國宣言發表と同時に同委員會はその光輝ある新國家建設工作の全工程を完了し解散した【奉天電話】

大阪に新五色旗卅萬枚注文

【大阪一日發】大阪市產業部內滿蒙輸出聯合組合へ二十九日奉天の輸出入組合から新滿洲國五色旗三十萬枚を大阪で四日間に調達して欲しいとの注文であるので組合の早瀨主任は各方面に掛合つてゐるが何分餘日が無いので三十萬枚といふ大量注文で請合ふ事が出來るかどうかは目下大阪染織工業組合と協議中である

寫眞說明　上圖は溥儀氏に出廬を懇請した各省代表一行、下圖は張景惠委員長（中央）と奉天記者團の會見

王道により新政の發達希望
土岐陸軍參與官談

貴族院議員陸軍省參與官土岐章子爵は滿洲軍事視察並に北滿視察のため副官島貫航空大尉を同伴、去る二十七日午後一時發列車で東京を出發、陸路京城に入り、同地より飛行機によつて一日午後一時五分周水子飛行場に着陸、直に自動車にてヤマトホテルに入つたが、土岐子爵は語る

來滿の要件は取り立てていふ程のことも無いが、軍部を訪問すると同時に北滿各地を視察し、滿鐵はじめ各方面で事變後の詳細なる狀況及び對策を聞き今後の參考にして見たいと思ふ、新聞紙によれば愈々近く溥儀氏の推戴式と

建國式典が擧行されいよ〱立憲新國家が中外にその存在を明かにするとになつたとの〻ことであるが、滿蒙のため、又東北民衆三千萬のため最も喜ぶべきことである、自分は從來支那においては王道政治以外は斷じて保境安民をなし得ないとの意見を持ち、昨年十月渡滿した際も各有力者にこれを力說し、歸國後も今日有ることを報告して置いたのであるが、理想的政治が滿蒙に布かるゝと聞いて、いよ〱滿蒙が世界の樂土となる日の近きを豫想し、新國家のために慶賀に堪へない、滿洲の大に各要人に會して

新政に關し一層努力をする考へであるが、これで自分の旅は一層意義あるものとなるわけだ、その他の要件としては幸い副官が航空家であるから滿蒙における航空路を研究し世界の樂土滿蒙のためにしたいと思ふ

なほ土岐子爵は約半月間滯滿視察をなす豫定であるが、上海方面には赴かぬ由

不合理な料金
蚕雪子

◇諸物價との釣合から考へて素々高きに過ぎた電燈料の値下げは當然である、この値下げに「斷行」と誇稱するが、內容實質果して伴ふだらうか
◇それは先づ需要家屋內外の引込線と器具（電球を除く）に對する設備損料は幾年經過しても原價は夙の昔に償却されても永久無限にとる、これが一燈毎月五錢
その次はスヰッチを切るだけの手數に對する「休止料」が檢針器及び毎燈につき十錢、第三番目にスヰッチを設けるかヒーズを通するだけに「施設料」が檢量器及び毎燈二十錢、これらの徵收は實に名分のたゝぬ不當な暴利である。
◇これのみならず、損料及び再設料は設備需要家持の所謂官舍や有產階級の個人家屋に課せられずして轉々借家を追ふて居住する比較的豐かならざる一般多數者に課せられる結果、これら一般多數は節約しても設備需要家持ちの少數有產階級のそれに比して月々の費用は割高である。
◇まさか曾て聞いた社長の電氣無料又は半額とかの埋め合せではあるまい、獨占的大會社が恣に民虐めの諸料金は一切全廢されんことを切望する。
◇電燈ばかりでなく水道、瓦斯等も同樣であるが檢針と集金の日を定めて需要家に豫告せられたい、月々區々では計算に惑はしく、資金の準備を缺ぎ赤面するばかりである。
◇序に瓦斯は器具貸付者に對する永久的割增計算を止めて月賦、年賦又は瓦斯の一定使用料に達するを以て償却とするやうにして貰ひたい、水道の三月拂も毎月拂に改められたい、水代でも溜れば大儀であり、移轉等に煩はしい賤着の種を遺す。

お斷り　右に對する回答は次の本欄に掲載いたします（係）

軍刀を翳し突擊中〇隊長林大佐戰死
田家橋の最前線にて

【上海一日發】第〇〇隊長林大佐は午前十一時二十分田家橋の最前線で部下部隊に突擊を命じ聯隊旗を先頭に敵陣目がけ、其祖傳來の左文字重光の軍刀をかざし進擊命令を叫びつゝ陣頭に進んだ時敵彈飛來し腹部に貫通銃創を負ひ重傷し後送の途中遂に戰死した

林隊長の仇を討てと命令
悲憤の前川〇團長

【上海一日發】名譽の戰死を遂げた林〇隊長の遺骸は〇團司令部に運ばれたが前川〇團長は自ら時澤新〇隊長に對し林〇隊長戰死の旨を告げ尙全員に「一名の支那兵も殘さずたゝきつけ〇隊長の仇をうて」と電話で命令した、なほ腹部に貫通銃創を受けた林〇隊長は收容後方に輸送される途中でも從卒に向ひ「大丈夫安心しろ」と元氣で語つたが衞生隊で診察を受けた時は既に息を引取つてゐた、同隊長の遺骸は衞生隊から午後一時二十分〇團司令部に運び込まれたが前川〇團長は顏のタオルを取除け「林殘念だつたナー」と瞳を見入り最後の挨拶を述べた

時澤少佐が指揮

【上海一日發】林大佐陣歿後第〇〇隊は第〇〇隊長時澤少佐代つて指揮前進を續けてゐる

谷口大尉と山本少尉も戰死

【上海一日發】午前十一時半前原小野、下元各〇團各部隊はクリークを越えて塹壕を突破して敵陣目掛けて一齊に突擊を開始した敵の抵抗愈々猛烈で飛彈霰の如く勇敢なる我將士は倒るゝ戰友の上を乘り越え乘り越え前進を續く酒匂〇隊第〇〇隊長谷口小太郎大尉及〇隊長山本一郎少尉は敵前二百米迄に進んだ時名譽の戰死を遂げた

滿鐵重役會議けふも續開
重要問題協議で緊張

滿鐵重役會議は一日午後一時半から正副總裁以下各理事（木村理事を除く）新波顧問、山崎總務部、市川經理部兩次長等出席のうへ本館總裁室で開かれたが鐵道問題、事業資金問題をはじめ、滿蒙調査會の緊急調査項目の査定等滿鐵刻下の最重要問題が一括して議題に上されたため近來稀らしい緊張振りを見せ同六時一先づ散會、更に二日も引つゞき會議を開くことゝなつた、而して目下重役には奉天その他各地に緊急な用件を持つものが多く、またこれ等の諸案件は江口副總裁が當然東京にて政府はじめ各方面と直接交渉を要する問題でありしかも副總裁の上京も急がねばならぬ狀態にあるため二日は午前十時から會議を開き張平は期し難しても三日會議を續開し出來るだけ速かに大體の方針を決定することゝなつた、なほこのため一日夜地に赴く豫定であつた伍堂理事は出張を無期延期し赴奉を急ぐ十河理事も二三日滯連することゝなつた

石川次長赴奉

滿鐵經濟調査委員會が今後いよ〱具體的調査に入るべき調査項目に就いては既に同委員會にて査定を終り、目下重役會議の審議を得るまでになつたので石川副委員長は十河委員長に先立ち一日二十二時發列車で赴奉、各方面との打合せおよび具體的お膳立に着手することゝなつた

關東廳新課署長略歷

今回の關東廳人事大異動により新たに入つて地方課長を命ぜられた鹽原時三郎事務官は明治二十九年生れの長野縣出身で山岡長官とは同縣の關柄である、大正六年東大獨法科を卒へ同七年遞信局書記、東京遞信局電氣局勤務を振り出しに貯金局事務官、遞信事務官、簡易保險局事務官、簡易保險事、簡易保險書記官等を歷任昭和二、五月清水市長に選ばれ同二月官を辭し同二月清水市長に就任して今日にいたる
×
新普蘭店民政署長を命ぜられた亘事務官は明治二十八年の鹿兒島縣生れ大正十三年東大獨法科を卒業後直ちに朝鮮總督府に入つて屬官を命ぜられ以來同總督府警務局勤務、道警視、道理事官、道視察官等に歷任、昭和四年同總督府警察官講習所教授に任ぜられて今日に及んだもの、江口現商工課長の後を襲ふて地方勅任官として今回採用せらるゝことゝなつたのである
×
新大連水上警察署長三澤重義氏は長野縣出身で明治二十二年生れ同四十三年警視廳巡査を拜命各地の警察署長を勤め上げ靜岡清水警察署長及び同縣靜岡署長、衞生主事等に任じてゐる
×
新貔子窩署長島越警視は岡山縣出身の明治二十年生れ、山梨縣警部補を振り出しに最近は沖繩縣警察部警務課長兼保安課長たりし人である
×
新旅順署長清水助太郎警視は明治十八年の山口縣生れ三十六年同縣師範學校講習科を卒業後小學校教員となり最近は下關水上警察署長をつとめあげてゐた

ばいかる丸船客

【門司特電一日發】ばいかる丸の主なる船客諸氏
山岡關東長官、葉梨秘書官、笹村吉郎、秋山九八郎、幅海茂次郎、庄島和平、松方優

人事

▲井麻太郎氏（關東廳地方法院檢察官）朝鮮地方の思想視察のため約十日間の豫定で二十九日出張
▲坂井誠一氏（佐賀縣肥料同業組合副組合長）滿洲における豆の取引狀態視察のため來連、一日夜行にて赴奉した

大觀

日支停戰、圓卓會議、和平の曙光、形の上では誠に結構▲唯問題は支那の誠意如何、列國の態度如何だ▲從來の如き無誠意不遜、從來の如き偏頗無視が一掃されぬ限り東亞の和平は期し難し▲體裁のよい愁訴言、體裁のよいお爲ごかしはモウ聞き飽きた▲況んや和平の交渉に虛僞の宣傳を弄し、また和平の立會に佛面を冠つて鬼心をほのめかすなど斷じて不可▲振りあげた此の腕、おろすもおろさないも、要するに相手の出よう次第、或は仲裁のしよう次第と知るべし▲上海で圓卓會議が開かれ東亞の和平が期待されようとする折柄▲米艦全部の太平洋集中は解し難い行動攻防演習も時にこそよれ、變な誤解を招來する如き行動は假令第三者と雖も愼むべき事だ▲太田氏の後任に兒玉伯、先考の關係と其閱歷から云へば正に適任▲誰だい？人物手腕よりもあの頭が驚嘆向には一層いゝだらうなンて、これツ失禮な▲敗けた民政黨の永井幹事長「正しき者は假令一人でも天下を動かす」と大氣焰▲「多數黨萬能」と心得てる議會人としてそりや敗惜みでせう▲斯ういふ威張り方なら無產黨の連中はもつと威張れる▲「掃き跡に殘る腑の二ッ三ッ」

市況（一日）

株式
內地ボンヤリ 當市弱保合

內地主力株の後場ボンヤリを入れて當市定期の新豆は七十錢安、錢鈔二十錢安、五品は一錢ずつ延、五品は二十錢安、新豆、錢鈔は二三十錢安、東新は六十錢安に引けた

◇後場

銘柄	定期	當限	先限
新豆	寄	二六三	二六五
	引	[illegible]	二六五
錢鈔	寄	二五〇	二五四
	引	二五〇	二五三
五品	寄	三〇三	三〇〇
	中	三〇〇	三一〇
	引	三〇五	三〇八

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	三六	三九	三七	三九
新豆	三三	三三	三三	三九
錢鈔	三二	三二	三〇	三〇
東新	一三六	一三六	一三六	一三六
鐘新	三三	三三	三二	三二

◇糧取引
▲代行寄二六、七引二六、五▲正隆舊一八、〇▲正隆二新五、三▲取寄九三引九五

特產
銀價の反撥で大豆低落

後場の定期は銀價の反撥を入れて各品共下押し大豆、高粱は軟調を辿り豆粕豆油は軟調を呈した

◇定期後場（銀建）
▲大豆（低落）單位厘
▲豆粕（軟調）單位厘
▲豆油（軟調）單位錢
▲高粱（低落）單位厘

◇現物後場（銀建）
混保大豆（袋込）寄付五〇〇〇　大引四九五〇
普通大豆（袋物）四九三〇　四九一〇
豆粕　一六九五　一六八〇
豆油　一三一五　一三一五

錢鈔
爲替續騰乍ら當市急騰

第四回爲替は三十三弗丁度と續騰を入れしも當市更に上伸す

◇定期後場（單位錢）
◇現物後場（單位錢）

商品
麻袋
綿糸保合

綿糸　大阪三品後場保合を入れたが當市は買氣旺盛で商內活況を呈した

奧地市況

▲奉天票　▲奉天大洋　▲開原大洋　▲安東鎭平銀　▲哈爾濱大洋　▲哈爾濱大豆　▲同小麥

市場電報
神戶特產
東京株式（長期）
東京株式（短期）
大阪株式
大阪綿糸
橫濱生糸
大阪期米

いはれも古き雛祭　桃の節句の物語（二）

お雛樣は昔は母子を表現

▽…小林胖生氏のはなし

以上の外今でも神社、佛閣からお祓といつて紙で人形を作つて各戸に人數だけ配つてそれに生年月日を認めさせて神佛の加護とその歳の幸福を祈る習慣が各地に殘つてゐます、この祓の式の人形が變化して木や竹で十文字を作りこれに紙か布で顔や着物を着せた天兒となり、それが變化して「お伽這子」になつてゐます、天兒は男女共通でありましたが「お伽這子」は女子專門のものになつて嫁入の時は必ず持つて行き寢室におくといふ習慣もありました

雛人形の始まりは

つまりこれに端を發しだんだんと進化して來たものです、それで今日ひなは紙雛か立雛が本格とされるのです、享貞五年の圖には疊に氈を敷いて雛を列べ元祿十年の圖には蛤を供へ酒などが備へてあります、享保十七年の圖に始めて雛役が一段あつて花が生けてあつたのを見ますと三月三日に今日のやうな雛祭をするやうになつたのは近頃のことで漸く三百年以來のことであらうと言はれてゐます、現代の雛は全く夫婦雛の形式となつてゐますが昔は夫婦でなく母子を表したものらしいといはれてゐます

元來醫術の進まぬ

未開民族にあつては神に祈つて治すこと即ち呪術が唯一の療法であり厄除けでありましたので産婦と生兒の肥立が惡かつたが或は肥立のよい事を祈るにもこの呪法によつたのでありまして、これを見ましてもこの母子の雛紙は、もと産婦と生兒の肥立のよい事を祈る呪法に用ひた祓具であつたものが祝に變つたもので初節句を殊に重要視して祝ふのはこの間の消息をよく物語るものではないかと思ひます、雛祭は最初京都を中心として行はれてゐましたが江戸開闢のころ次郎左衞門といふ人が京都から輸入して江戸にひろめたのです、それが

德川中世から武家

を主としてこの祭を催すやうになり十軒店の繁榮を來し、玉司大名などが金銀などに飽かして凡ゆる人々の極致を盡して纎巧華麗なものを作らせたゝめに一時は幕府から禁令が出た位で當時十軒店の七澤屋といふ店では非常に纎巧な細工を施した立派な道具を作り出し贅澤を極めたのでありました、明治維新になつて五節句が廢されてこの雛祭も廢れましたがまた復活されて盛になり新時代の巧妙な技巧によつて昔の巧緻を極めた雛にも劣らぬ優秀なものが出來てゐます、この雛にも色々の種類が昔からあつて室町雛、元祿びな治郎左衞門びな、芥子びな

[illegible]衣びな吉野びな

立びな、鴨川びな、芥子びな、紙びな、高砂びな、深草びな内裏びな、紙びな、古今びななど樣々ありますがその他郷土藝術として多種多樣の雛り物があります

谷の鐘（6）

旗野二郎

カラスは、あたふたと、あはてゝとんでいきました。しげつた草むらをかきわけて、谷川におりようとしますと、「おい鳥さん」

とよびとめるものがゐます。

「だれかい今いそがしいんだよ」

「——」

鳥は、そのまゝ行きすぎようとしましたが、やはり、きにかゝるので、

「だれなの、今、私を呼んだのは」

すると、草むらの中から

「わしだ。わしだ」

といつて、首をもちあげたのは蛇でした。

「なんだ、蛇さんか」

「そんなに、あはてゝどうした」

「あはてるつて、兎さんが、うたれたんだよ。今、水をもつていつてやるところ」

「兎さんが?」

さういつたきり、蛇は、目をつむつて、づるづると、草むらの中にもぐつていつてしまひました。

鳥は、ちよつと道草をくつたので、またあはてゝ、谷水へおりていきました。

谷水は、苔の生えた岩から、ちよろちよろ流れて、水晶のやうにたまつてゐました。

鳥は、腰から、ニウムのコップをとりだして、水をすくひました。そして、こぼさぬやうに、兩手でしつかりもつてとびたちました。

そのひやうしに、頭の上に、こつんと、どんぐりがおちました。鳥は、それが、鐵砲の彈丸かとおもつてびつくりしました。そして、ニウムのコップをおとしてしまひました。もう一度、くみなほして

「よし、こんどこそは」

と、力んで、とんでいきました。

アサヒノボル

中溝しんいち作（65）河野ひさし画

一　サルハ　ニゲルニモニゲラレズ　イソイデソノハコヲカカヘルト　ホトケサマノアタマノウヘヘ

二　ブキヲモツタボウズタチハ　サルガホトケサマノアタマニヰルノデ　タダサワグバカリ

三　コレヲミテ　サルハ　オホキヾリ　マツカナオシリヲタタイテ　ココマデオイデト　ハナイキガアライ

四　クヤシガツタボウズタチハ　ナニカミミウチヲシテ　ソトヘデルト　ヘヤヲピツチヤリシメテシマツタ

彼女らの職業戰線を往く

これから腕を磨いて　聽てサービス滿點

遲れ馳せ乍ら大連に現はれた　麻雀ガールに聽く（J）

▼▽…「麻雀クラブ開業いたしました、美しい親切な麻雀ガールがサービス致します」昨年の春麻雀倶樂部營業の願書が警察に提出されてからほとんど一年——やつと願叶つて後ればせながら五つの麻雀クラブがわがダイレンにその瀟洒な姿を現はしてからもう半月にもなりませうか?

▼▽…「麻雀クラブ!へえそんなものが出來ましたかね」と不得要領な顔付をする人が未だ絶對多數を占めてゐるでせうが、麻雀ファンの間におけるクラブの人氣は實にすさまじい限りで、どの麻雀クラブも連日滿員客止といつた有樣です、すでに麻雀クラブの出現が大連のトピックである以上、麻雀ガールもまた大連人士にとつて好奇の對照でなければなりますまい

▼▽…きけば「麻雀ガール」募集の廣告が出た時どこの麻雀クラブにもほとんど應募者がなかつたさうですが麻雀ガールの性質乃至仕事について或は募集した本人にもはつきりとその概念がきめられてゐなかつたのではないでせうか——がとにかく今日各麻雀クラブに二三人の彼女麻雀ガールがこの數日前から姿を見せてゐます、女給風の、女中風の、ゲーム取り然とした、それらの女たちの中に上品なお嬢樣風の彼女も一二無いことはありませんが新生の麻雀クラブがかき集めたであらう大多數の麻雀ガールがこの快適な近代的な麻雀クラブにしつくり調和するまでにリファインされるには未だ幾多の月日が必要でせう

▼▽…事實比較的教養が低く家庭がまづしく、何等の特別な技能のない彼女の姉妹が、友だちがたゞ好色な男達に媚を賣ることによつて彼女等のパンを獲てゐる現實を目に耳にきく時新たに麻雀ガールたらうとする彼女が又この女の唯一の資本を此處に利用しやうとすることは當然すぎることなのですけれど麻雀クラブの本質上彼女等の露骨なエロ戰術が失敗に終ることは想像にかたくないのです

▼▽…上品なサービス、行きとゞいた心づかひ、それに多少の色氣があれば彼女のサービスは滿點なのです、蒸タオルをすゝめ、お茶とお菓子を運び、お夕はんの注文をきゝ、電話のとりつぎをすること——これ等が先づ現在の彼女のしごとなんですけれど、しかし麻雀ガールにはこれだけでは不足なのです

▼▽…麻雀ガールは勿論サービスが主なんです、ですからなるべくお客樣が氣持よく麻雀のお出來になる樣に氣をきかして御用をして差上げるんですけれどあまりうろうろと立働いても却つてお邪魔になります、それよりひまがあればお客樣の麻雀でも靜かに拜見さして頂くやう、勿論何よりも麻雀をおぼえることそしてお相手がない時には私どもがお相手する位の腕はもつてゐなければいけませんわ

▼▽…東京で麻雀クラブにゐたといふ××子さんの話しはたしかに麻雀クラブの將來を指示してゐますとまれ今日大連の麻雀ガールは未知數です、玉石混淆の現在麻雀ガールが如何に洗練され完成されるかは大連の麻雀倶樂部の將來をも左右するものでありませう

滿日各地版

匪賊の襲撃説頻々 撫順不安に襲はる わが守備隊等出動

【撫順】撫順守備隊は二十九日朝營外前甸子に約二千名の騎馬賊及びその後方に數百名より成る本隊ありとの報に接したので午前十一時三十分角田中尉以下〇〇名をトラック數臺に分乘せしめ新屯方面より之が討伐に派遣した、尚二十八日夜は今朝撫順城を襲撃したる賊目趙亞洲賊團の報復襲撃を始め午後九時頃は前甸子より三百の匪賊撫順へ來襲前進中其他午後に入つて各地に匪賊出沒の報頻々として傳はるので川上隊長以下隊員一同は何時にても出動出來るやう準備し手具脛ひいて出動を待ち受けたが、前甸子の情報は誤傳と判明更に之と相前後して入つた欒棧街襲撃の報は場所柄でもあり相當確實性を認めたので〇〇〇隊大官屯發電所附近に出動せしめ徹宵警戒すると共に、同十時を期し非常訓練の意味で撫順防備隊百名を召集し淨水池、機械工場永安臺、東郷以東各炭坑の警戒に當らせたが何れも異狀なく廿九日午前七時引揚げた

る情報あり且つ李千戸屯附近には蟠集せる兵匪團蟠居せるを以てこれが討伐の目的を以て鐵嶺守備隊主力は田所大隊長自ら指揮して二十九日午前二時當地出發別働隊として中山大尉の一隊は支那公安隊と協力して張家樓子方面に出動したが主力は午前十時頃石灰窑子に於て百數十名の兵匪と遭遇交戰の結果敵十數名を殪し馬匹其他多數の鹵獲を得我軍には損害なしと

山頭堡に匪賊

【鐵嶺】廿九日午前十一時頃山頭堡東方三支里關山勾に約三四百名の兵匪襲來せる情報あり調査の結果兵匪頭目は不明なるも晝食中にて移動する模樣なく平頂堡附近は嚴戒中である

撫順は絶對安全 斷じて一指も染めさせぬ 撫順の當局者は語る

【撫順】頻々たる匪賊團の襲撃出沒に昨今撫順及び近隣の部落民が可成りの不安脅威を感じてゐることは屢報の通りであるが當局では二十九日左の如く最近の匪賊狀勢に關し語つた

撫順附近は昨今の匪賊動靜に一般に脅威を受けてゐる狀態である、これは這般來の滿鐵以西地區に於ける匪賊の大討伐に依つて敗走賊が本線を横切つて東方即ち奉撫線南部方面に移動し來つて沿線附近を

脅して ゐるのと東北方鐵嶺縣境に蟠居せる頭目趙亞洲、金山好、放振國等の配下が南方本縣々境には餘りやつて來ぬが又今は鐵子臣頭目の配下等が今尚横行してゐるしその間小部隊の辻強盜であつたり或は播種期前の鮮支農民が前途を憂慮してゐる等の關係から種々の流言的情報が亂れ飛ぶうち撫順城の襲撃と來たものだから不安ながかこち脅威を受けるのも尤もなことである、事實過日來は匪賊の移動出沒事件も多く殆んど周圍各所に毎日の如くあるので當方の警備警戒も目まぐるしい狀態でもう十日ばかりといふものは夜の目も眠らず寧ろ九月の事變當時よりも忙しく緊張して居るのである、匪賊團の

位置や 兵力も當方には分つてゐるわけで奉撫新井子の南方二、三里の地點には頭目劉海泉子子藻の約四五百名がゐて終始線路の一、二粁近くまで出て來るが銃器彈藥少く質が惡いだけで附屬地や驛をどうしやうといふ考へは持たぬやうである、併し食に窮すれば物資をとるため千金寨等物資多き所を襲はんとも限らぬのでゆるがせには出來ぬ、趙は配下二千と稱してゐるも左程になく元來が縣下下章の警出身で配下も殆んど土匪である、金山好、放振國は趙と合體し縣境に蟠居して配下七千と號してゐるもこれも實際は千五、六百に過ぎぬが之等はまだ本格的な討伐を受けてゐないため相當の銃器、彈藥及び

馬匹も 持つてゐるし部下には北大營の敗走兵や公安隊員等も可成參加してゐるので相當兵力を持つてゐるし、渾河も結氷してる折だから北方の警備は特に注意を要するわけである、右の如き狀勢であるから近々に於てこつぴどくやつゝける機會があるべく信じてゐるしそのうち悉く殲滅せねばならぬが、如何なることがあつても附屬地や千金市街などは一指も染めさせぬと同時に絶對安全だと斷言して宜しいと思ふ

わが守備隊 匪賊と交戰

【鐵嶺】廿八日朝撫順城内を襲撃したる賊團は鐵嶺縣内に逃走した

匪賊三名と交戰 公安隊幹部戰死 大疙城の匪賊事件

【鐵嶺】去る二十三日午後七時半頃西安縣大疙疸城内小什字街果物商李鳳祥方に顧客を裝ひ闖入したる三人組強盜あり拳銃を擬して家人を脅迫現大洋二百五十元を強奪尚も目星しきものを物色中主人實弟の急報により公安局長李仁才、騎兵連長張正喜、迫擊砲中隊長李春山以下從卒五名現場に急行屋内に入らんとするや強盜は發砲しつゝ逃走を企て猛烈な交戰の結果一名を逮捕したるも二名は巧に行方を晦ました、此交戰に於て李春山中隊長は即死し張連長重傷を負ひて間もなく死亡し從卒二名被害者主人も輕傷を負ふた、併し中隊長の死が背後から擊たれた形跡あり殊に所持せる拳銃が強奪されてゐる點より推して逃走する賊の仕業に非ず或は同士打ちなるやも知れずとの疑ひが濃厚でありますが市民は僅か三人組強盜の爲め公安隊幹部二名が射殺され三名の負傷者を出した事に驚いてゐる

寒行の淨財 五十圓を滿洲號に寄附 奇特な一老女

【熊岳城】今回滿洲號の獻金に對しては各方面より奇特の淨財が集つてゐる樣であるがこゝに年老たる女性の信仰の結晶として金五十圓也の獻金方申出が當熊岳城派出所にあつた、それは熊岳城森田驛長母堂いち子刀自が嚴寒二十餘度を下る寒風を犯して六十幾歳の老軀をもいとはず謹で觀音、弘法大師の熱心なる信仰者である所より單身沿線及旅大方面の寒行に三十餘日間寢食をも忘れて巡禮し戰死勇士の英靈に對する供養の志を兼ね總額を自辨して供養せられた金に自己の小遣錢を加へ丁度金五十圓也として獻金したものであるかうして建造された軍用飛行機が吾人の頭上を飛ぶ時を想像して滿悅の態である

分會長らに感謝狀

【鞍山】鞍山獨立守備隊第三中隊の内務檢査及兵器檢査は廿九日午後二時より岩田第三大隊長來鞍し施行せられたが時局以來殆ど晝夜の別なく兵器を使用せるにも拘らず内務も兵器も完全にして無事に午後四時檢査を終へたそれより鞍山在鄉軍人分會長久留島秀三郎氏及び製鐵所自動車運轉手碓井政光、中田義夫、鞍山消防隊長伊藤左仲等の諸氏に對し感謝狀の授與式を行ひ午後五時より憲町俱樂部に於て鞍山有志と懇談する處あつたが感謝狀は左の如し

感謝狀

帝國在鄉軍人會鞍山分會長
後備役陸軍工兵中尉正七位 久留島秀三郎

氏は人格德望共に高く且平素よりの國家的觀念頗る熾烈にして加ふるに鞍山製鐵所に在りては採鑛課長の福要繁劇なる地位なるに拘らず常に良く五百有餘の在鄉軍人の指導誘掖に盡力し其成績見るべきものありたり然るに昭和六年九月十八日滿洲事變突發するや或は自衞團の組織を或は備防隊の編成を企畫し又常に進んで守備隊に連繫をとり守備隊の出動等に際しては各種の便宜を與へ且後顧の憂をなからしむる樣各駐屯地の警備に關しては絶大なる努力を拂ひたり殊に在鄉軍人中未教育者に對しては一刻も速に教育訓練を完成せしめざるべからずとて約一ケ月毎夜自ら之れが指導の任に當り尚又五百有餘の分會員を指揮し非常呼集演習、防備隊演習及示威行軍等を實施して在留邦人を安堵せしむると共に有事の際絶對に不覺を取らざる事に就き寢食を忘れて盡瘁せり、恰も十二月二日千山驛西南方對面山附近舊坑道内に兵匪侵入しあるの報に接し鞍山守備隊第三中隊は山元中尉以下一小隊を以て之れが討伐に向ひたるも坑道奥に於て屈曲しありたる爲め如何とも爲し能はず 乃ち同日夜半十時頃該坑道の爆破を電話を以て同氏に依賴するや直に之を快諾して夜間にも拘らず「ダイナマイト」二十五屯五〇とこれが取扱人數名を伴ひ最短時間を以て現場に到着し暗夜の中に而も危險を冒し從業員を指揮督勵して爆藥裝置作業を終り三日午前一時廿分頃遂に見事坑道の爆破を敢行し兵匪を悉く死に至らしめたり、斯くの如きは全く同氏の獻身的奉仕の念極めて旺盛なる結果と稱し得べし、之は要するに分會長として平時は勿論今次事變の渦中に於て邦家の爲貢獻せる功績は頗る顯著なるものと認む仍て茲に之を感謝す

昭和七年二月二十九日
獨立守備歩兵第三大隊長
陸軍歩兵中佐從五位勳四等 岩田文男

感謝狀

鞍山消防隊長 伊藤左仲
鞍山製鐵所用度課勤務 中田義夫
鞍山右同 碓井政光

客年今次の滿洲事變勃發するや日頃習得せる自動車運轉術を以て自ら之を操縱し進んで劉二堡に又は風雪甚だしきの日騰鑿堡の示威行軍に參加し第三中隊の行動を容易ならしめたり殊に二月六日劉二堡北方約二里靑堆子に於ける兵匪逮捕に際しては敵は堅固なる望樓にありて監視嚴重なるに拘はらず愈々其の優秀なる技倆を發揮し勇猛果敢危險を冒して突進し遂に敵をして挑戰するの暇なからしめ我に降伏せしめたり又家宅搜索に方りては率先之に從事し巧に隱匿せる多數の銃器を發見する等第三中隊をして所期の成果を收めしめたるは氏の獻身的活動に據る所大なるものと認む 仍て茲に此の狀を贈り感謝の意を表す

昭和七年二月廿九日
獨立守備歩兵第三大隊長
陸軍歩兵中佐從五位勳四等 岩田文男

陳相屯驛長脅迫 獰猛な劉海泉の一味

【安東】安奉線陳相屯北方に本據を置き機を見ては附近村落を襲撃してゐる獰猛なる匪賊の頭目劉海泉は二十九日陳相屯驛長に對し左の如き脅迫狀を送つて來たので我軍警は目下警戒中である

驛長貴下に呈す本司令は目下瀋陽縣第一區史家寨に駐屯してゐるが彈丸必要につき本書面披見の上卅年式歩兵銃彈四千發、卅八年式歩兵銃彈五千發、重機關銃五挺を二日以内に貴驛より東北方史家寨前衞救國司令部に送附せられたし若し要求に應ぜざる時は貴驛を襲撃し鐵道及び電線を破壞すべし

氣味惡い書翰

【鐵嶺】當地城内萬升恒に雇はれてゐた某は最近馬賊の群に投じ目下金山好の部下として大甸子に居るが二三日前舊主人たる萬升恒に宛て金山好以下合流兵匪三千は目下大甸子にあり頭目會議の結果當地は今や食料もなき爲め止むなく再び鐵嶺を襲擊するに決し近く決行の模樣あるにつき貴家は今の間に生命財産の安全な地に避難される必要ありと注告とも脅迫ともつかぬ薄氣味の惡い書面を送つて來たと

馬賊長山好 歸順を申込

【鐵嶺】去月上旬頃より新臺子西方石佛寺を中心として附近各部落を放火掠奪し石佛寺に對し屢々脅迫狀を送つて人心を怖えさせ其部下も四五百を擁し一大勢力を有してゐた馬賊頭目長山好も時の流れを觀し新政府に抵抗するを不利と悟り最近遂に歸順の意を決したるもの、如く部下に對しても歸順の同意を求めたが幹部級はこれに同意を表したるも大多數のものは強硬に反對論を唱へこれが爲めに内訌を生じて分裂の止むなきに至つた爲め彼は益々歸順の意を固め傳手を求めて二十八日當地守備隊に出頭誠意を披瀝して歸順を申出でたので目下憲兵分遣隊に於て取調べ中である

首都を移しても經濟的には發展 長春奠都問題と奉天の今後で 磯田正金副支配人談

【奉天】多年軍閥の苛政に塗炭の苦みに喘いでゐた東北三千萬民衆は更生新國家の現出によつて誅求の苦から脱するを得何れも再生の喜びに浸つてゐる、同時に又奉天が新國家の首都として發展するものと多大の燭望と期待がかけられて居たが今回一般の期待は裏切られ新國家の首都は長春と決定されたので俄然首都問題を中心として種々の議論が擡頭しつゝあるが右に關して正金磯田副支配人は左の如く語つた

長春奠都は奉天にとつては相當影響する處は大きいでせう、總べての政治機關が長春に移されるとなれば、今日まで一般の人が奉天は丁度日本の東京見た樣に大發展をするものと期待して居つたのですから、從來奉天における重要機關は殆んど軍閥で、物資購買者の多くも亦軍閥が多かつたでせう、今回軍閥はなくなつたがそれに變り、奉天が政治の中心となつて從來に倍する殷盛な都市となるものと一般は大きな期待を持ち種々準備計畫中であつたのが全然反對となつた爲め一般はガッカリして居る譯でせう、然し奉天は將來經濟的には發展するでせう、長春に首都が變更されるとしても多額の經費を要するだらうがそんな金は何處から捻出されるでせうか、何れにしても直ぐに大發展をなすと云ふ譯ではないでせうが奉天の都市發展上から見れば相當大きな問題ですれば又最近の銀價及び對外爲替關係に付いて左の觀測を洩らした

最近の銀高は勿論銀塊高にも依るでせうが、支那側の銀高は一般の人氣で動いて居るのと他方では上海市場の取引停止が原因と對外關係もあるでせう、將來の豫測はつき兼れますれ、對外爲替も暴落を續けてゐるが之も對外々交關係と一つは上海事件に依るものと見られてゐる樣ですが此の上暴落するとせば政府に於ても何等かの對策をとるでせう、支那との取引も未だ事變直後で捗々しくないでせうが銀高は支那側の購買力を增進する事となるが世界的に銀は安いのだから今後どうなるか豫想し難いですね

地委側の對策

【奉天】奉天地方委員懇談會は廿九日午後一時から奉天事務所會議室に於て開催地方委員聯合會各地提出議案に關し審議されたが劈頭新國家の首都問題につき緊急動議起り長春奠都で討議が行はれたが結局議長副議長を含む特別委員五名を選定し要路に對し長春奠都に至つた理由を質すことになり聯合會提案につき審議をなし午後四時頃散會した

避難鮮農の原地歸還は困難 萬寶山へ歸る者五百

【長春】朝鮮總督府及び在滿各地の領事館では日支事變により避難中の鮮農を原地に返し孜々として經營して來た水田の耕作に當らしむる方法を考究中であるが彼等の殆どは慘酷なる兵匪のため肉親と別れ或は多くもない財物を掠奪され悲慘の極に曬されてゐるため原地歸農は頗る困難と見られてゐるが萬寶山に歸る鮮農は百三十五戸五百名餘でこれに對しては東亞勸業が投資せないことになつたので長春領事館から右鮮農のため種籾買入れ排水口修理、堰止工事、本秋收穫期までの食料、開墾費、住宅新築、經費等に充當する一萬二千九百九十五圓の補助をすべく考慮中であるが本年の耕作豫定地は三百天地となつてゐる

鳳凰城に日曜學校設立

【鳳凰城】當地滿洲養蜂場の經營主にして本派本願寺淨慶寺住職高海豁師は今回有志者の懇望により日曜學校を組織し本月廿八日開校したが其の趣意は師の曾ての經驗を基礎として子弟の情的教養を目的とし道念の涵養に奉仕したいと云ふのである、授業は毎日曜日午前十時より一時間乃至二時間として參加兒童に對し何等費用を要せぬと

夕宵の開原城内で 補助憲兵狙撃さる 膝に中つたが幸ひ輕傷

開原憲兵分遣隊附補助憲兵一等兵晴山勇造氏は二月廿八日午後七時頃大野憲兵上等兵外三名と開原城内巡察中開原縣政府裏通に於て何者かにピストルにて狙擊せられ右膝關節に盲貫銃創を被り直に開原醫院に入り應急手當を受けたが彈丸は幸ひに皮下に止まり關節等に損傷なき見込である同氏は廿九日十二列車にて衛戍病院に入院した

於て二十八日それぐ協議を重ねた結果、同日奉天に於て開かれた日本人大會に於て決定を見た方法に基き日支人共同を以て大々的に舉行さるゝことに一致した、時日等は未だ未定である

支那の青年聯盟に 復縣より代表を

【瓦房店】新國家の設立と共に各地に宣傳されて居る支那側青年聯盟の組織は漸次具體化したので奉天に於て三月一日を期し其發會式を行ふべく復縣よりも其代表者數名出席した

大阪貿易商見本展示會

【奉天】大阪滿鮮貿易同業組合主事藤原保五郎氏は二十九日朝來奉各方面を歷訪挨拶を述べたが同業組合の見本展示會員一行は二日來奉同日は午前九時から午後五時までヤマトホテル地下室に於て見本展示會を催し三、四の兩日は持廻り展示商談をなし四日夜九時二十分發列車で長春へ向ふ豫定である

阿南侍從武官

【鐵嶺】在滿軍隊將兵の勞苦を思召され畏きあたりより御差遣相成りたる侍從武官阿南惟幾氏は聖旨を奉戴して來る五日午前十時廿八分着列車にて來鐵當地駐屯各隊は勿論衞戍病院に入院中の戰傷病兵に對して聖旨を傳達し即日午後四時半特急で離鐵公主嶺に向ふと

工業實習所入所試驗

【撫順】撫順に於ける今春入學試驗の皮切りである工業實習所の入所試驗は二十九、一日の兩日間に亙り千金寨の同所内に於て執行されたが募集人員六十名に對する志願者は百六十一名で前年の二百六十五名に比ぶれば百名以上も尠くその上不參者が十五名もあつて實際受驗者は百四十六名に過ぎなかつたがこれは事變等の關係で主として内地の志願者が減つたためであると、尚合格發表は四日乃至五日の豫定

巡捕採用試驗

【長春】南滿沿線六ケ所に新しく二百名の巡捕を增員することになつたことは既報したが長春警察署では二百名中二十名を置くことゝなりこれが採用試驗は二十九日午前九時半より警察署内教習所で行はれたが應募者は支鮮人合せて六十八名であつた

大阪商議理事

【奉天】大阪商工會議所理事高柳松一郎氏は三月十六、七の兩日奉天で開催される日本商議支部問題常設委員會に關し奉天商議と打合せその他のため廿九日來奉した

十五氏の遺骨

【奉天】匪賊の頭目老北風、青山等の毒手に斃れた安達隆盛氏以下十五名の遺骨拾ひのため安川松五郎、黑木新平氏その他知人遺族十五名は廿七日奉天を出發し目的地の盤山、沙嶺方面に向つた

新國家祝賀 金州でも盛大に

【金州】金州における新國家建設の祝賀方法については日本人側は市民會に於て支那人側は商務會に

沿線往來

▲長岡駐佛大使 赴任の途次廿九日十三時着安奉線にて奉天着
▲關西[illegible]局長 廿九日奉天着
▲岩田文男氏(第三大隊長) は二十九日急行にて鞍山へ
▲岩澤猛氏(公主嶺正隆支店長) 二十八日急行列車にて赴任

長春

神代列車區長

長春列車區長神代新市氏は今回四洮鐵路管理局派遣員として榮轉赴任することゝなつたが同氏後任としては撫順より宮城調明氏來長二十九日は兩氏相携へて市内各所を歴訪更任挨拶をなすところあつた

開原

軍警慰問費に　藝者らの獻金

開原二業の藝者一同は二月廿八日金十八圓に軍警慰問費の端に御加へ下さいとの書面を附して開原時局後援會へ提出したので小川會長はその芳情を諒とし喜んで受納し近く催すべく計畫中の軍警慰謝會の費途に充つることにしたと奇特なことである

建國運動に開原縣長ら出奉

二月廿八日奉天に催さるる聯省建國促進運動に參列の爲め開原縣長丁乙希、徐商務會長陳公議會副會長外三名は二月廿七日奉天に出張した

地方委員茶話會

開原地方委員會は三月一日午後一時より開原地方事務所樓上に全員集合し第九回地方委員聯合會各地提出議案に付審議贊否を決する由

陸軍記念日　典と建國祝賀方法打合

開原時局後援會は三月一日午後三時委員全部を地方事務所に集め三月十日の陸軍記念日式典及滿洲國建國祝賀方法等につき協議をする

鐵嶺

鐵嶺卓球大會

全鐵嶺ピンポン大會は恒例により本社支局でもこれを後援し優賞チームに銀メダルと準優勝チームに銅メダルを寄贈した、出場希望者は三人一組とし會費三十錢を添へ松屋運動具店又は滿鐵社會係に申込まれたい

奉天

孔子廟の祭典

廿九日は孔子廟の祭典日に當つたが奉天市長趙欣伯氏は午前中折柄雪解けの泥路を冒して南門裡の分廟に詣で懇ろに拜禮したが市長は大の孔子崇拜者（大本教信仰者とは誤りであると）で今後は年々盛大に催す筈で當日は一般の參拜者も多數であつた

招魂祭を執行

來る十日陸軍記念日當日奉天に於ては午前十時から忠靈塔に於て招魂祭を執行正午奉天高女校講堂に於て祝賀會を催すことになつたが當日の會費は一圓である尚九日午後六時半から春日小學校で軍事講演並に活動寫眞が上映される筈

野添書記長

日本商議滿蒙視察團一行を案内して吉林、ハルビン、チチハル等北滿を視察した奉天商議野添書記長は二十八日夜歸奉した

安東

無責任な縣長

寛甸縣公安第八區楊木川居住の支那人富豪楊德山外廿名は連署して同地公安分局長を經て同縣長張之翰に對し

日支事變勃發するや安東、鳳城縣内に駐屯中の軍隊及公安隊は日軍に擊退され寛甸縣西方に侵入し自稱中國義勇軍なりとて民家、富豪を襲ひ掠奪暴行を逞しうしつゝあるにも拘らず當局は何等の取締を爲さず一般住民は恐怖し安東奉天等の安住地に移住せんとするも彼等は之を艱目派なりと阻止し住民は實に苦境に陷る状態なれば至急何等かの取締方法を講ぜられたし

と陳情したのに對し縣長は楊木川公安局長孫棒齡をして左の如き無責任極まる回答を爲さしめた

日支事變は益々擴大を告ぐるに至りたる爲め敗殘兵の横暴は熄滅せず官憲としては之が取締に腐心し居るも事變一段落を告げれば敗殘兵の蔓不可なり就ては時局柄止むを得ざる事情なれば彼等の暴行を避けるため多少の要求に應ずべし

開いた育兒館

安東育兒館も開館されて漸く茲に二旬を越し、現在では四、五名の幼兒が朝から晩迄終日を規則正しく保姆に從つて導かれてゐる成績は極めて良好で幼兒の生活が非常に力あり望みあつて正に天國の感さへあり、何事も周圍の影響から伸び行く幼兒であるだけに育兒館の現狀は眞摯そのものである

それに幼兒の氣分が一致し素直で團體氣分を充分に養ひ「オヤツ」のときでも手洗場所へ列を爲して進み順當に、嗽ひ、手を洗ひ、濟み次第食堂へと云ふ風に凡て規則正しく朗かに卽ち純に素直に育てることをモットーとし、諸施設の完備託兒者も漸次増加しつゝあるので保姆は勿論社會係としても非常に喜んでゐる

蔡憲兵補遺骨

十九日敦化にて戰死せる吉林憲兵隊敦化派出所勤務一等憲兵補（伍長相當）蔡達默氏の遺骨は廿七日午後七時着列車で南下したが驛頭には多數出迎へあつた

鞍山

盛況の將棋大會

二十八日午後一時より南三條町植田繁三氏方に於て鞍山へボ將棋大會を開催したが競技出場者は富永次長を始め阪元理事、正隆支店長鈴木精一氏、太田瓦、支店其他十數名の天狗連が集り紅白戰並に個人試合を擧行し盛況を呈し夕食を取るのも忘れ深更まで盛に戰つたが紅組四十二對白組四十四にて白組の勝利に歸した、個人賞A組は明治屋の富安萬里氏一等賞に入賞、B組は遼鞍新聞支社長野尻彌一氏が一等に入賞した、競技修了後杯を擧げヘボ將棋大會を祝し午後十二時頃散會した

馬を盗まる

鞍山鐵道西客馬車營業吳古東（五九）使用の馭者夫業順民（二〇）は二十八日午後三時頃二名の客を乘車せしめ劉二堡に送つたが其の歸途劉二堡村外れにて强盗に逢ひ白牡馬一頭を强奪されたと同所公安局に屆出たので鞍山廳務會に通知して來たが此の馬匹は最近大洋五十元にて購入したものであるが或は業順民が賣却したのではないかと疑はれて居る

出動部隊より禮狀

鞍山守備隊第六大隊に入隊した初年兵百八十餘名は山本中尉以下數十名の助敎助手により第一期檢閲を終へ去る日〇〇方面に出動したが廿九日山本中尉より鞍山地方事務所時局委員會宛に一般市民各位に宜しくと禮狀が到着した

滿洲國祝賀會

鞍山時局委員會では一日午前十時より地方事務所會議室に於て時局幹事會を開催したが近く建設する滿洲國祝賀會は來る十日まで延期

今年の入園兒　百五十五名

本年度鞍山幼稚園に入園申込した園兒は百五十五名あつた地方事務所地方係では二十九日午後一時より小學校講堂に於て高眼科醫長により虎眼檢査を施行した成績は近日中發表するとすることに決定したと

大石橋

愛犬を軍用に寄贈

當地廣津三角堂藥房主廣津三吾氏は廿九日獨立守備第三大隊本部に岩田大隊長を訪れ事件突發以來の辛勞を慰問し且つ自己の愛犬で軍用犬として最も適當なセパート種一頭を寄贈した、岩田大隊長は非常に其厚意を喜び立派な軍用犬に仕込み鐵道守備に偵察に斥候に役立て寄贈者の厚意に報ゆる筈

石電役員會議

二十九日午後一時より大石橋電燈株式會社樓上會議室に於て役員會を開催役員改選を行つたが左の如く決定午後二時半散會した

取締役（重任）　小林　才治
取締役　赤倉龜次郎
監査役　村上　歸文

熊岳城

安藤彪氏の『芳流曲』公演會

浪花節を近代藝術化した壁の創始者と稱せらるゝ「芳流曲」の創始者安藤彪氏の公演會は二十八日夜滿鐵クラブで軍隊慰問を兼ね熊岳城俱樂部慰安部主催、熊岳城安藤彪後援會の後援の下に開催されたが公演曲目は菊池寛、久米正雄等の原作をそれ以上に其氣分を聲によつて表現した「父歸る」「恩讐の彼方に」「其の日の乃木夫妻」「獻石衞門と狹生平石」等多數軍人を始め滿堂の聽衆をして眞に此の新しき藝術の中に遊ばしめた

瓦房店

時局寫眞展覽會の盛況

本社主催に係る時局に關する寫眞展覽會は二十八日午前十時より午後四時迄瓦房店小學校講堂に於て開催したが陳列前より參觀者押掛け押すな〳〵の盛況を呈した殊に皇軍のチチハル方面の行動や錦州入城や又は馬賊の生活襲擊行動等の寫眞は最も興味を以て迎へられ非常の參考となつたと

徵税を急ぐ

復縣々廳にては例年農產物收穫期を以て大體徵税の成績を擧げ來りしが時局のため收入不良を來したので今回各區に收金吏員を派遣し税金の整理を行ふて居る

金州

滿洲號獻金　續々集まる

金州高野山金剛寺の大師講員一同は寒行に依つて得た喜捨金を五ケ所に分けて寄贈したが滿洲號には金十圓を獻金した尚此の他多數の獻金を見て居るが各部局に於て集めつゝあるが結局千四五百圓に達する見込み

遺族戰傷者へ金

金十九圓二十錢關東廳種馬所員一同△二十五圓四十六錢金州警察署員一同△五圓本丸弘△二圓神野重三郎△三圓五十錢關東廳衙門員一同△十圓金州郵便局員一同

第二の反抗　(164)

三宅やす子
阿部金剛畫

青い灯（二）

お靜が相變らず「奧さん」の自慢話をするときに、いつも喜美はしよんぼりとした胸をひとりで抱きしめて居た、そのくせ「奧さん」についてきく好奇心は、ますく高まつて、何となく憎い「奧さん」の話を、よく聞かされて居たのだが、奧さんに逢つて御覽なさいよ、と幾度もお靜はすゝめた。

其うち東京に來るさうだから是非と云つてひきあはせる日を、お靜はたのしみにして居たらしいのだ。

そんな機會がのつぴきならないやうだつたら、お靜には何とも云はないから、又こゝを逃げ出してしまはうか、などとも喜美は考へて居た。

でも、それきり、奧さんの消息が絶えて、お靜は心配して居たけれど、喜美は内心ホツとして居たのだ。

「あたしおくやみの手紙を今晚中かゝつても書くわ。あんたさきに寢んで頂戴」

お靜は興奮して、すぐ便箋をひろげ、小机の前に後向きになつた。

喜美は

「ぢや、おさきにね」

床にもぐつて、夜着をかぶつたが、彼女の胸も動搖する。

奧さんはこれからどうするだらう、東京に出るのだらうか。其儘田舍で暮すのだらうか。獨り身になつた奧さんは、これから自由に何でも出來るのだが——

お靜には何とも訊けない。

喜美は獨りで想像を、いろ〳〵にめぐらせて眠れない。

「あら、喜美ちやん」

やがて、電氣をパッチリと消す音がして、お靜が傍に寄つて來た。

「まだ眠つてなかつたの？もう遅いわよ」

「どうしたんだか眠れなかつたの」

「あんた飮み過ぎたのよ。きつとカクテルなのめのめつて、今夜のお客、一寸しつこかつたわね」

「厭な奴よ」

「此せつは駄目だわ。勘定の危くないお客だと思ふと、そんなに限つて、いやにしつこいんだものね——あいつ、喜美ちやんをさてもれらつてんのよ」

「どうだか」

「どうだか分らないわ。用心しなきやだめよ。あんなの、けちよ、ぼだから、うつかりしたら、大變なことになるわ」

「みんなけちんぼだわ」

「さうね——時節が惡いのね。あたしたち、いくら一生懸命に働いたつて、このせつのやうぢやあれえ」

「一寸、今月の間代どうする？」

「まだ二、三日間があるから、何とかなるわ」

「だつて米屋の方だつて——」

「心配しないでいらつしやいよ。待つて貰ふばかしだわ」

「それや、さうだけど——」

「いやに世帶くさい話になつちやつたわれ。さうでなくても氣がめいるよ——寢やうよ。いゝ人の夢でも見るに限るわ——喜美ちやんなんかいゝかげんに、喜美ちやんの好きな人を呼んでおしまひなさいよ」

「誰、近藤さん？」

「いゝえ、もつとほんものの好きな人」

「いやなお靜さんね。あれは駄目なのよ」

「駄目なことがあるもんか。役所に電話一つかけるだけのことぢやないの？」

「駄目なの——そいでもし來てくれなかつたら、もう私の生きてる張合がなくなるもの」

「御馳走樣——さあ寢ようよ」

（滿日案内）三行一回金九拾錢　被雇廣五行一回金六拾錢　十行一回金壹圓五拾錢　十五行一回金參圓　二十行一回金四圓五拾錢　姓名在社は一回金三拾錢　廣告部電話は二三六九五・四四九一番です

醫學博士 堀江憲治氏創見

ネオホリミン

塗るとすぐ 熱と痛がとれる

◉賞讃既に世界的!!

只一度の試用直ちに世評を立證す

肺炎・肋膜炎・盲腸炎
腎臓炎・神經痛・關節炎
打撲・腫物・腰痛
咽喉痛・肩凝・頭痛
熱・乳腫炎・感冒
百日咳・一般炎症

◉濕布劑と同視する勿れ

本劑は一般濕布劑の如く濕布作用をして患部の良轉を圖るが故に乾かぬ事のみを目的として調製せしものに非らずして本劑は含む成分が貼用と同時に滲透し病源の撲滅を圖るが故に直ちに鎮痛解熱の作用を營み治療的効果を最も迅速ならしむると共に濕性肋膜炎の胸水腎臓炎、腹膜炎の浮腫、腹水等未だ化膿せざるものは十時にして消失する等一般濕布劑とは斷然類を異にする獨特の特効を有する滲透治療劑なり

◉一度の使用以つて其眞價を知られよ

肺炎 四十度の高熱只二回の更新一夜にて平熱となり主治醫も其奇効に驚きつゝあり（高尾秀市 隅田勝治）

肋膜炎 本劑は滲出性肋膜炎に對し他藥の及ばざる強力なる吸收力を有し特に溶して使用する事なきを便利とす　臺灣總督府嘉義病院長 醫學博士 鈴木憲二氏寄

肋膜炎 十ケ月前よりの肋膜炎本劑使用三日目より痛薄らぎ十日目より全く其苦痛を去り今尚再發する事なし　三浦金三郎寄

淋巴腺炎 朝夕二回の更新二日にして全治特効藥として推奬す　菱木醫院長

盲腸炎 八年前より毎年苦しめられつゝありし難症四五回の塗布にて全く痛止り其後何等苦痛を覺えず　池田カツ子寄

腎臓炎 只一回足下に塗布して見事浮腫を去り其後一向再發せず驚異的特効藥として推奬す　種苗新聞社主幹 花見喜八郎寄

乳腫炎 五日の連用に依り全く治す　日吉病院長口述

凍傷 一夜の塗布にて難症しもやけ見事全治再發せず　梅原新五郎

打撲 肋膜部位の打撲二回の貼用にて痛み去れりとの事にて其後の使用を中止せるに激しき運動の結果再び疼痛を訴へたる故其後二回貼布せし處激しき運動にも何等痛を感ぜずと治癒を申出たり　三浦金三郎寄

瘭疽 初期瘭疽に應用して切開手術の要なく治癒せり。從つて本劑は他の濕布劑とは全く異る効力を有する藥劑なる事を認めたり　二項平山病院長

關節炎 關節炎に應用して良結果を得、他の濕布劑とは異る顯著の効力を有する藥劑なる事を認めたり　專賣局診療所

感冒 熱高く肺炎併發の恐れありたるにホリミン横胸より胸部一面に塗布し外足下に貼用せしに凡そ七時間位にして全く解熱し治癒に向わしめたり　赤羽橋診療所

◉先づ聽け各專門家と實驗者の聲を

●本劑は溫める手數を要せず

包裝
百瓦入 四五　三百瓦入 一・〇〇
五百瓦入 一・五〇　一瓩入 二・五〇
二瓩入 四・五〇
（本劑五十瓦の容積は一般塗布劑の百瓦程に相當す）

發賣元 東京市日本橋區大傳馬鹽町七 東亞理化學研究所 電話浪花(67)六八四八番

滿洲發賣元 大連市浪速町一四七 日本賣藥株式會社 電話六一三九番

超スピードねつとふうい
副作用なき高級新藥

KOKYU NETSUSAMASHI
ヒ
トンプク
ひな散
SEIZAIHONPO
HINA KOEIDO

本舖 岡山日名弘榮堂
各藥店ニアリ

産婦人科

婦人の病は婦人の手で
女醫 永井清子
永井婦人醫院
病室完備入院隨意
大連市若狹町四十三
電話三六六六番

萬　白鶴

大連市監部通
嘉納合名會社大連支店
電話 [illegible]

此の 二重の眞價

化學上の純石鹸でありますは勿論特に最上の原料を扱ふに特殊の配合と工程を以て致しますが故に

◎ミツワ石鹸

は作用が特に緩和で石鹸分を殘さず顔面と肌膚と毛髪を柔軟に整へる上溶解適度に些しのムダ無く半途で溶崩れず三倍保つから經濟第一です

◎ミツワ石鹸 不斷の品質向上の爲に、夜科學的研究に盡しつゝある主要なる技術家諸氏
理學博士 小平勵氏
農學博士 河村正鑑氏
工學士 三雲次郎氏
工學士 野中正夫氏

顔面と 肌膚と 毛髪の

ミツワ石鹸

化粧美を生かす

化學的作用が特別に緩和で 後に石鹸分を殘さぬ

◎ミツワ石鹸 て清潔に洗ひ整へた地肌へ 附着伸びよき

純無鉛の サーワ白粉 を清水で適宜に溶伸してツケれば 濃淡自由自在に從來に無い美しいお化粧が出來ます

其の明るく冴えた化粧美！

この良質の石鹸をよく此廉價にて提供できますのも、大量生産の結果、即ち、偏へに各位御愛用の賜物に外ならず、厚く御禮を申上ます。

如月寒の折柄 湯化粧は

ミツワ石鹸で先づ汚垢を洗ひ落しましてから、地肌の濕りをよく拭除つて、キレイな掌で煉伸ばした白粉（サーワの固煉か煉）を附けて撫伸し、乾きましたら再掌に殘つた白粉に水を足して煉伸し、擦込む樣につけて、最後の乾きで、水か微溫湯で浮いた白粉をお洗ひ下さると、白粉が地肌に沈んで、素地からの白さの樣に美しく上ります。」

B.21

本舖 東京 ◎ 丸見屋商店

寗古塔の生地獄

一齊射撃に遭ひ 九死一生の避難

漸くハルビンに辿りついた 高岡號支配人語る

【ハルビン特電一日發】二十八日第二十二旅長趙香の部下に兵變起り支那兵のため射撃され命からぐ海林に逃れた寗古塔の在留邦人十六名は海林十八名石頭河子二名の在留邦人及び鮮人八名と共に一日午後一時半着列車で殆ど着のみ着のまゝ難を逃れてハルビンに避難して來たが支那兵のため一齊射撃を受けた寗古塔の高岡號支配人松本氏は語る

寗古塔には二十二旅長始め部下軍隊が駐屯してゐますが二十八日參長項俊傑の率ゐる第二、三兩連の兵中約百五十名が反亂し市中は忽ち騒然となつたが公安局では到底邦人の保護は保障出來ないといふし危險が迫つたので午後七時半頃邦人は皆消燈して鳴りを鎭てゐたと反亂兵約三十名が突然やて來て私の店に　て一齊射撃を加へ私や家族はスワ事と裏口から逃出し物置き中、材木の下、塀の下などに隱てゐたが**賊は門を破つて庭内に突入し盛に發砲し物蔭を銃劍で突いたりしました、それも統制あるやり方で一々命令してゐました、我々は生きた心持もなく息を殺してゐましたが賊の射つ銃聲に交つて「射て」「突け」といふ物凄い聲が暗の靜寂を破つて我々の頭の直ぐ上で響きこの世のものとも思はれませんでした**間もなく賊は呼笛を吹いて引揚げましたが一時間程して公安局の巡警が八名來て樣子を話してくれました、それによると反亂兵は三隊に分れ一隊は私の店、一隊は中村さん方を襲つた由でした、中村さん方は財物が目的で掠奪されたそうですが私の店は前に○○を泊めたことなどあるのでそのためらしいです、また他の一隊は旅長の家を襲ひ司令を捕へて江南に拉致して行きました、その後縣知事（臧式毅の兄）が交渉に行つて旅長を取り戻して來たそうです、

反亂を起した原因はよく分らないが、近くの五虎林には李杜軍が來てゐるからこれらと連絡あるのではないかと思はれる、我れ〱在留民は**二十八日夜は動くことも出來ず隱れたまゝ一夜を明かしたが横路夫人如きは當時逃げ遲れて女乍らも高い塀を二つも越えて單身海林に逃げのびた**もので す我々は廿九日朝十時頃漸く公安局からトラック　臺に警官をつけて迎へに來てくれたので一臺に在留民一臺警官十　名が乘り海林に脱れて　ましたが間もなくここも危險となり同地の人々と共にやつと避難して來ました

た、また海林で料理屋を營み北滿の女傑として誰知らぬ者もない長沼夫人は流石の女傑も支那兵の亂暴には餘程こりてゐると見えて抱の鮮人酌婦四名を連れて逃げて來たが「今度こそ命がないと思つた」といひ乍ら列車から眞先に飛降りた夫人は語る

前日　ら賊が來るとの噂で持切つてゐまし　二　九日に支那兵が内輪喧嘩をして騒ぎ出し李杜軍も近くに來てゐるし于徳林の兵も山を　えて南から入つて來るといふし町は上を下への大騒ぎです、我々は何にも考へる暇もなくほん　身の廻りの品だけ持つて逃げて來ましたが今日あたり盛んに掠奪してゐるでせう

東部線の邦人 全部引揚ぐ

ボクラと穆林の三十四名は 避難せず踏み止まる

【ハルビン特電一日發】東支東部線方面の邦人は益々危險が増加するので避難の機會を狙つて居たが在哈總領事館より各地の公安局及び特區警察署に宛て邦人の保護方を依頼したので兩者は最近あらゆる手段を講じて避難に便を與へ且つ丁超直屬の護路軍は最近殊に態度を代へ邦人を保護するに至つたので東部線各地からは續々として一日ハルビンに引揚げた名を最後としてボクラニチ西の在留民は全部ハルビンに引揚げを終つた、ボクラニチナ名及び穆林四名は何時にても避難し得るやうソウエートの了解を得たので踏み止まつ

北滿の形勢 愈よ一段落

丁軍平穩に歸順撤退

【ハルビン特電一日發】丁超は愈々一兩日中に來哈するが先づ歸順條件として二十九日から鐵道沿線よりの撤退を開始し一面坡附近の沿線には一兵も止めない、又撤退に際しても掠奪を行はず至極穩かに命令に服した模樣であるが吉林側では歸順條件として丁超軍の改編を主張してゐるので丁超直屬三千の兵はそれ〲吉林軍に編入されるものと觀られてゐるが李杜、邢占清、馮占海等に屬する部下軍隊は素質惡く果して命令に　かどうか危ぶまれてゐる、既に北滿の大勢もこれによ　し一段落の態である

鐵道部隊歸長

【ハルビン特電一日發】滿鐵道○隊は一日午前八時五　ルビン發長春に歸還した

乃木將軍銅像清祓式

昨報の如く來る九月十三日の乃木將軍二十年祭までに中央公園忠靈塔附近に同將軍の銅像を建設することになつた帝國在鄕軍人大連聯合分會では日一午後三時半より東鄕町臼井商店廣間に於て在鄕軍人各分會長彫刻家室谷秀司氏始め知名氏多數參集の上盛大なる清祓式が舉行され各參列者將軍の銅像原型の前に玉串をさゝげて一日も早く完成せんことを祈つた【寫眞は清祓式】

治安維持が 何よりも大切だ

門司で山岡長官語る

【門司特電一日發】山岡關東長官は神戸からばいかる丸で今朝門司着午後一時同船で歸任せるが長官は語る

新國家の治　維持が充分に出來れば邦人の發展　在滿住民の安寧も出來ない關東廳としても來年度八百萬圓の警察費を以て警官を増員し又無電設備及び航空警察部等を新設する計畫であるが、三月に警官を増員することゝなつた、新國家の關税も問題となるのは大連、營口の所謂借款の擔保となれ　ものを如何に改訂するかの點のみである、兎に角生れた新國家を健全に明るく守り育てゝ行くことが何より大切だ

し三月上旬一部地九州及び中國　の分に對しては　をなすことゝな　旅順警官練習所行相當の人員を　樣である、なほ　しては地域的　は軍人出身者の

名左のごとし
▲戰死者　歩兵七六上等兵高橋勝三郎同寺田　椎原寅一、軍　傷者軍曹秋山　石河英雄、上　下勝太郎、山　太郎、一等兵　太郎、宮田守　電話】

州駐屯保安隊司令部警備隊が協力し掃蕩にあたり敵匪賊を東部熱河省區域まで驅逐したがなか〱の激戰にてわが軍の死者七、重輕傷十數名を出した、死傷者中判明せる氏

滿洲でも 警官募集

軍人出身者を

增員費支出 閣議決定

約二十六萬圓

【東京特電一日】

五十八勇士の 遺骨が到着

けふ埠頭で慰靈祭を執行し 香港丸で内地へ歸る

錦西方面の 戰死傷者

判明した氏名

二十六日夜以來、錦西附近　した匪賊をわが連山關守備

不動産取得税附加税の 調定が間に合はず

市は豫算に狂ひを生ずるので 今更ながら大狼狽

大連市昭和六年度不動産取得税附加税は豫算額一萬七千圓で　に近づいた今日はまだ八百　十錢を調定したのみでなほ　千百九十三圓五十錢の調定　なつてゐるが七年度は財　税收入の豫想額　他の一般歳入に　も幾分の歳入不足を免れ　にあり萬一右不動産取得税　において一萬數千圓の收入

滿鐵關係の初中等學校 教員近く異動發表

けふ詮衡會議で決定

正式發表

淘汰整理

召集兵の 職業保障

家族扶助救護

出征兵遺族の 醫療救濟通牒

名譽の戰死で 父も本望でせう

林大佐の令息語る

『滿洲號』献金に 支那側が起つ

小崗子露天市場の 全區商民三百餘名

滿日婦人團 献金募集

街頭に進出

三勇士の遺族へ慰問金

營口支線開通

支那人の 暴行頻々

邦人被害續く

上海座談會

滿洲體育協會の 昭和七年度の事業決定

建國映畫と講演の夕

一、期日　三月三日午後六時半
一、會場　滿鐵協和會館
映畫「建國」三卷　自治指導部作製
講演「世界を巡りて」世界徒歩旅行者　山田八郎氏
會費　整理費として金十錢を頂きます
主催　滿洲日報社

曙の鐘（213）

倉田潮　河野想多畫

陥穽（四）

平津は荒まじい勢ひで山姥の面を「捨て身」にほうり投げたが投げると同時に身をそらせて其の首をおさへこんだ。

怖ろしい技術と荒まじい力と……それに敵の奇襲は待ちかまへてゐたことだつた。山姥は對手をわなにはめようとして、自分の方がわなにはまつてしまつたのだ。筋肉のりゆう〳〵とした海賊艦長の腕にしめつけられて、山姥の面は一時戰鬪力を失つたやうに對手のなすままに身をまかせてゐた。

平津は頸をおさへこみながら、手を延ばして對手の假面をはぎ取つた。假面ははげたが、漆黑の闇で顔が見えない。

「名をなのれ。貴樣は誰だ、何處の何者だ」

と平津は對手の體つきから男であるのを知りながら、低く唸るやうに叫んだ。と、山姥は苦げに叫びかへした。

「貴樣の方から名のれ、貴樣は、卅三では、ないのだな」

「さうだ。卅三ではない、貴樣も女ではないことは解つてゐるぞ。さ、何處の誰だ。名のらぬと締め殺すぞ。」

「うーん」

と唸つたが、山姥の面は名のらなかつた。二人の息切れが闇の中に猛獸のやうに聞えた。

「まだ名のらぬか、かうしてくれる」

うつ――と力をこめて、息の根もとまれと平津は咽喉をくびりあげた。荒まじい力だつた。ごき〳〵と關節の折れるやうな音が呼吸のあらじの中から聞こえた。つひに山姥はこんがつきたやうに。

「名のる。名のるから、少し手をゆるめてくれ。苦くて、言葉が、口が……」

「よし」

平津は少し手をゆるめた。と、そのすきに山姥は下から平津をはねかへして跳び起きた。油斷をつけこまれたとは云へ、案外な力と技倆に平津は驚かないではゐられなかつた。跳ねかへされてひよろ〳〵と立ち上つたが、しかしさすがに平津は左手で曲者の右手を握つてゐた。

「放せ」

と曲者はその手を強く引いた。

「何をする」

手は放したが、引かれた勢ひを利用して、どつと平津に飾れかゝるやうに體あたりをくれると、背後によろめくのを耐える敵の力を利用して、反對に前へがつとはれ腰で……。が、對手は體を平津の足の上にのせ、兩手を頸と胸とにからんでふら〳〵と宙に浮きながら攻撃をこらへた。平津の方がかへつて曲者を背に負ふたまゝ、自分の力で半間ばかり躰をよろめいた

しまつた――突嗟にさう思つて姿勢をとゝのへやうとするより早く、曲者は足を互違ひに平津の體にはさんで、丁度鋏にはさんでお飾すやうに、烈しくあほむけに平津を地に打ち飾した。思ひがけない身の轉さだつた。が、技倆は劣つてゐても平津は力と膽力に於てまさつてゐた。

飾れながらも彼は敵の着物の裾をしつかりと握つてゐる。曲者は起き上つて逃げやうとしたが、着物をつかまれてゐるのを知ると、猛然と平津の懐中に跳こんで來た同時に平津の咽喉は蛇にまかれたやうに、グッとしめつけられて行く。平津は暫し身を動かさなかつた。

闇の中で二人の息が荒まじく唸るやうに聞こえた。殆ど沈默の格闘だつた。沈默の格闘の末につひに平津は敗れたのか。まるで死體のやうに體をのばして横たはつてゐた。咽喉は次第々々に烈しくしめつけられて、つひには敵の腕が平津の咽喉の肉に食ひ入るほどになつて來た。しかし、平津はなほ死んだやうに、敵のなすまゝに身をまかせてゐた。

けふの放送

東京 JOAK 三月二日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後六時五十分ニュース
▲英語講座「テキスト第四十三課」大連神明高等女學校山田長三郎
▲獨唱（イ）蓮の花、シユウマン作（ロ）かやの木山、山田耕作作（ハ）子守唄、ブラームス作（ニ）野ばら、ウエーバー作　滿鐵音樂會渡部良子
▲小唄數種、田村てる枝
▲河花節「高濱八郎」吉川晴雲
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース
▲中國劇「擊鼓罵曹」連東倶樂部々員

大連 JQAK 三月二日午後六時三十分

▲時事講座「滿蒙と農業福民」京都帝國大學教授農學博士橋本傳左衛門
▲ラヂオ風景「珍妙座談會」作並出演指揮柳永部均、出演者柳永二郎、藤輪和正、大矢市次郎、清水辰三郎、藤村秀雄、村田峰子、菊波正之助、飯島綾子、高梨俵堂、柳田春子、山田巳之助、高根百合子、木村政雄、秋元梅子、澄川久其他和洋樂群衆

大河内傳次郎　突如！お寺の娘との結婚を公表

銀幕上の王者大河内傳次郎が突如お寺の娘との婚約を公表した。映畫俳優と僧侶の娘！およそ奇妙なこの取合せがどうして生れたか？噂さの渦がファンの間に轟々と捲き起つてゐる時、噂さの主人公からその詳細を發表された。いま華やかな人生の第二頁を繰り展げようとしてゐる大河内はその心境を何んと讀つてゐる？大河内氏は特に「帝人世界」を選んでその三月號に委曲を發表してゐる。

第四十回 滿日勝繼碁戰（湯淺氏三回勝四回目）

先　湯淺唯二氏　秋元豐二郎氏

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九

イ　ロ　ハ　ニ　ホ　ヘ　ト　チ　リ　ヌ　ル　ヲ　ワ　カ　ヨ　タ　レ　ソ　ツ

●一四一ソ十六　○一四二チ十六　●一四三チ十五　○一四四ト十五
●一四五ト十六　○一四六ト十七　●一四七ヘ十六　○一四八チ十七
●一四九ニ十四　○一五〇ニ十五　●一五一ハ十四　○一五二ロ十四
●一五三ヌ十七　○一五四ヘ十八　●一五五チ十八　○一五六ル十八
●一五七ヘ十三　○一五八ホ十五　●一五九チ十四　○一六〇チ七

—【8】—

（明治四十年八月二十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

新國家『滿洲國』の立國宣言
新政府の名において發表
けさ行政委員長張景惠氏より

新國家（滿洲國）の立國宣言は大同元年三月一日午前十時二十分東北行政委員會委員長張景惠氏公館において滿洲國政府の名に依つて華々しく發表された、當日張氏は午前三時頃まで要人等と重要協議を續けたので九時ぎ起床し、同二十分新井顧問及び秘書を從へて公館の大應接室に現れ待ち設けた日、支及び外國新聞通信記者團に圍繞されながら欣然たる面色、嚴肅なる態度で建國宣言に至るまでの經過を略述し、玆に滿洲國政府の名において左の如き建國宣言書を發表したのである

建國宣言

我滿蒙の地は邊陲に屆し開國縣遠なり、これを往昔に徵するに分併稽ふべし、地質膏腴にして民風は樸茂なり、開放を締るに及んで生來日に繁く物產豐穰實に奧府となす

然るに辛亥革命後共和民國成立して以來、東省の軍閥は中原鼎亂の機に乘じて權を攫取し、三省擄りて已の有となし貔貅相繼いで正に二十年に成らんとす、狼戾貪婪荒淫侈佚にして人生の休戚を顧みることなく唯々私利を是れ圖る

內は暴斂、橫征意を擅にして揮霍しその結果幣制紊亂し百業凋零するに至れり、且又時に野心を逞うして、兵を關內に進め地方を擾害し民命を傷殘す、一再敗衂するも尙後悔せず、外は信義を蔑棄して釁を隣邦に開き、悉く親仁の規に昧く、專ら排外を事とし加ふるに暴政修らざるを以て盜匪橫行して四境普く到る處蹂躪掠殺して村里は一空となり、老弱は溝壑に陷り餓莩は途に載す、

我三千萬民衆が命を此の殘暴不法なる區域に托するは日を待たんのみ、何ぞよく自ら脫せんや

今や何の幸ぞ手を隣市に假りて此醜類を驅りて積年軍閥蟠居し秕政の萃聚せる地を一旦にして廓清する、これ天、我滿蒙の民に蘇息の良機を與へしなり、吾人の當に奮然として興起し邁往勇進以て更始を圖るべき處なり、唯々これ內中原を顧みれば改革以來初めは雄鬥逐して頻年戰爭を起し、近くは一黨專橫して國政を把持す何をか民生といふ實にこれを死に置くなり何をか民權といふ、唯々利を專らにするなり、何をか民族といふ、唯々黨あるを知るのみ、既に天下を公となすといひ、又

竊に惟ふに政は道に基づき道は天に基づく、新國家建設の旨は一以て順天安民を主とす、施政は必ず信正の民意に循ひ私見を存することを容さず凡そ新國家は領土內に居住するものはみな種族の岐視尊卑の分別なき原有の漢族、滿族、蒙族および日本朝鮮の各族を除くほか、卽ちその國人といへども長久に居住を願ふものはまた平等の待遇を受けることを得、その正に得べき權利を保證しそれをして糸毫の侵損あらしめず、並びに力を極めて往日の黑闇政治を剷除し法律の改良を求め地方自治を勵行し廣く人材を修めて賢俊を登用し、資源を開闢し實業を獎勵し金融を統一し、生活を維持し審政を敎練し匪患を肅請す、並びに進んで云へば敎育の普及は正に禮敎を崇ぶべし、王道主義を實行し境內一切の民族をして熙々皐々として春臺に上るがごとくならしめ、東西永久の光榮を保ちて議會政治の模型となさんとす

其の對外政策は信義を尊重して努めて親睦を求め凡そ國際間の舊有の通例は謹しみて遵守せざることなくその中華民國以外の各國とさだむるところの條約上債務の滿洲新國領土內に屬するものは皆國際慣例に照して繼續承認す、商業を創行し、資源を開拓するため わが新國家に投資を希望するものあらば何國に論なく一律にこれを歡迎し以って門戶開放、機會均等の實をあげんとす

以上宣布せる各節は新國家の立國に關する主要なる大綱なり、新國家成立の日より始め新に組織せる政府においてその責任を負ひ極めて誠懇なる表示をもつて三千萬民衆の前に向ひその實行を宣誓す

そもそも政體は何等を分たず、たゞ安居集團を主となす、滿蒙は舊時本國と別に一國たり、今や時局の必要により自ら樹立を謀らざること能はずと、卽ち三千萬民衆の意向を以て卽日中華民國と關係を離脫して滿洲國を創立することを宣言しこゝに特に建設要項を中外に昭布し咸に聞知せしむ

天地照鑑す、この言を渝ることなし

大同元年三月一日

滿洲國政府

上海事件を解決する圓卓會議召集案採擇
和平の曙光に和かな聯盟理事會

【ジュネーヴ特電二十九日發】上海事件解決の確信を得た二十九日の公開會議は緊張裡に午後六時十七分開會された、會議は五十五分にして議長提案の上海に圓卓會議を開き和平協調を討議せんとの案が採擇され、こゝに和平の曙光が見えて來た、この日の會議は非常に和やかに且朗かに行はれ英代表サイモン卿は議事開始前、傍聽席の友人に挨拶を送り、議長ボンクール氏は佐藤代表と何事か談笑し、謹嚴で聞えた事務總長ドラモンド氏まで頰杖を突く等の氣輕さで如何にも重荷を下したといふ風に見えた、ボンクール議長はサイモン卿に目配せしながら靜かに議事を進め佐藤代表も何時もの落ちついた態度に歸り支那代表顏惠慶氏もおとなしく傾聽してゐた

アメリカ政府はこの圓卓會議に參加し且つ我々が採擇せんとする和平協定案に對し飽くまで協力する用意がある

終つて議長は再び起つて、アメリカ理事會の提案に參加する事に對し、大に歡迎の意を表し、次いで佐藤代表は左の如く述べた

英サイモン外相の通告は非常に重大である、余も勿論議長の提案に贊成するものであるが、但し本國政府に請訓する事を條件とする、日本は上海の圓卓會議に關しては共同租界に對する差迫つた危險を除去し上海における日本人のみならず外國人の權益を保護したいといふ考へから之

ボ議長の解決案內容
我代表請訓を條件に贊成

【ジュネーヴ二十九日發】上海事件を何とかして圓滿解決せんとの意氣込みで、非常な緊張裡に聯盟理事會公開會議は本日午後六時十七分から開會された、先づ議長ボンクール氏開會を宣し、同時に左の如く述べた

上海における日支衝突の結果戰線が大に擴張されんとし、同時に多大の人命の損傷を來す懼れあるに鑑み、余は理事會が上海事件解決のために凡ゆる機會を等閑に附せざらんことを切望する、尙英代表サイモン外相より聞くに兩國の事件解決のため新なる見込みあるとの事で誠に喜ばしい

次いでサイモン外相は左の如く述べた

余は數時間前本國政府より受けた報告によると支那公使ランプソン氏は、昨日午後停戰交涉のため日支兩國軍司令官會議を行つたと正式に報告して來た、日支軍司令官の會見は英東洋艦隊旗艦ケント號上で行はれ、二時間半に亘る交涉の結果、主義としては相互軍隊の撤退に同意したものである、次いで撤退地區問題の詳細討議行はれ、この停戰協定案は東京及び南京に送られ考慮を求むる事となつた、本日理事會を開く事は適當と憑ふと結び、ボンクール議長は之に多大の滿足の意を表し上海事件解決のため左の如き提案をなした

一、日支兩國を含む關係各國の圓卓會議を卽時上海に召集し兩國の戰鬪行爲の終熄に努力すること

二、日本は領土的野心を有せず或は何等特別の特權を求めざる事を聲明し、會議に參加する事

三、支那は同樣會議に參加するも外國人の居留地は何等變更を受けざる事

次にイタリー代表ディノ・グランチ氏は議長の提案に滿腔の贊意を表し、英代表サイモン外相も亦これに和し、左の如き重大聲明を爲した

これは飽くまで協力する用意がある…

三軍を叱咤する植田〇團長（寫眞）

植田〇團けさ八時半全線に總攻擊を命令

【上海一日發】前原〇團司令部は昨日午前十一時半江灣鎭中央部に、植田〇團司令部は正午江灣競馬場に夫々前進、前原〇團は林、德野兩〇隊の外新に敦賀〇隊を配屬に入れ、〇翼下元〇團には廿八日〇〇から〇〇した松山〇隊が配屬された、斯くて大場鎭を目差す配備は全て完了したので植田〇團は全線に亘る總攻擊令を一日午前八時半發し空中爆擊、山砲、野戰重砲の敵陣地に集注射擊を一齊に開始した

敵は總退却を開始か
大場鎭にて目下大掠奪中

【上海一日發】皇軍の大部隊增援來着の報と村井總領事の鐵道破壞警告とで敵軍內部に早くも大恐慌を來し續々退却を開始したとはれてゐる、〇〇の決行を豫想さる、一日は朝來風寒きも絕好の晴天にて將士の士氣軒昂たり

【上海一日發】大場鎭に侵入した敵軍は退却の行がけの駄賃に目下大掠奪を行ひつゝあり

きのふの各方面戰況

【上海二十九日發】〇〇軍司令部は元植田〇團司令部跡楊樹浦の〇〇〇〇〇〇に設定に決した

【上海二十九日發】二十九日の戰ひで中央部隊進出の結果、皇軍の前線〇翼から〇翼迄併行するに至り更に〇翼下元〇團〇翼〇團と共に〇〇部隊の增援を得て愈々〇〇日未明一齊に前進を開始すべく意氣沖天今廿九日から緊張してゐるこれと同時に今迄〇〇にあつた〇團司令部も明一日早朝西南方の〇〇〇に前進する事となり愈々〇〇未明からの激戰を豫想されてゐる

【上海二十九日發】本日の閘北攻擊戰で陸戰隊〇〇隊〇隊長鮫崎兵曹長は最〇翼の攻擊部隊として柳營路方面に突擊したが敵陣は極めて堅固で總て深い壕を掘り壕の間の地下には通路あり土嚢陣地はその屋根となつてゐるもので堅固を誇つた陣地も遂に鮫崎〇隊の突擊により奪取された、その際鮫崎隊長は貫通銃創で斃れた

【上海二十九日發】今朝十時から我飛行機〇〇機は四回に亘り敵陣を爆擊したが寶興路の敵陣を粉碎し東家濱並に眞茹驛附近の敵に大損害を與へた

【上海二十九日發】今朝〇〇〇〇〇〇隊大澤大尉は陣地視察中敵彈に斃れた、これで大澤〇隊は遂に一名の將校をも殘さゞるに至つた

支那調査使命
委員長ステートメント

【東京二十九日發】來朝せる聯盟支那調査委員長リットン卿は今廿九日左のステートメントを發した

一、委員は何れも異なる五國から選出された個人で構成され、決してこれら五國の代表委員會ではなく、聯盟により任命され、聯盟を代表するもので、たゞ聯盟に對してのみ責任を負ふものである

二、委員會は昨年十二月十日の聯盟理事會の滿場一致で任命され、滿場一致には無論日支代表も含む事を特に强調する、その委任された權限は廣汎なものでその適用は諮問機關としての範圍において一任されてゐる

三、吾人の最初の目的は先づ日支兩國政府と折衝する事にある

四、我等は最近滿洲や上海に起つた事件發禍團體でなく主たる目的は日支兩國に聯盟としての任務を盡し兩國をして永久的協定の基礎を發見せしむるにある

五、最後に聯盟は極東において平和の維持さるゝ事を希望する以外に何等の利害を代表するものでない【寫眞はリ卿】

に贊成するものである

之に續いて議長は左の如く宣言した

圓卓會議は上海地方における戰鬪的行爲を中止し平和狀態恢復のため卽時上海に召集する、參加委員は日支兩國政府並に關係國の代表を以つて構成す、圓卓會議は次の二大原則の下に開催されるものである

一、日本は何等政治的領土的野心を有せず又上海に日本專管の居留地を設立する意思もなく日本の特殊權益を圖る意思も有せざる事

二、支那は上海における共同租界並に佛租界の安全と保全を確保し、此等兩租界の住民の危險を絕無ならしむる諒解の下に參加する事

勿論この圓卓會議の將來の進行は現場における停戰協定の成否如何によるものである、理事會はこの停戰協定が迅速に成立する事を信ずる、上海に關係ある文武官憲が協定到達のため總ゆる援助を致されん事を切望す、

この提案は國際聯盟の地位或は日支兩國と各國との關係を何等害せず、制限を加へず專ら上海地方における卽時和平協定を目的とするものであるから議長の名において日支並に關係國がこの提案に贊成協力されんことを要望する

之に次いで支那代表顏惠慶氏は次の如き感謝の意を述べた

支那政府並に國民は國際聯盟が上海地方における停戰並に平和狀態恢復のため努力した事に深甚の感謝の意を表す、支那政府は理事會提案の上海事件に關する圓卓會議に喜んで參加するものである、余はケント號における和平協定交涉に關し上海より左の如き電報に接して居る

昨夜英東洋艦隊司令官ケリー提督は日支代表を旗艦ケント號に招き、次の如き條件のもとに提案を提出した

一、日支兩軍とも同時に撤退を開始する事

二、支那軍は「眞茹」の線に撤退すると同時に日本軍は租界境界線內に撤退する事に次で、支那軍は滬寧線で南京迄引揚げる事、同時に日本軍は乘船歸國の事

三、兩國軍隊の撤退は中立委員を以て監視する事

最後にドイツ代表ナドルニー氏及びスペイン代表マダリア氏が討議調停案に贊成演說を爲し、議長は次の如く閉會の辭を述べた

余の提案に對し日支代表の贊成を得た事は誠に欣幸とす、日支兩國政府においても異議なく同意される事と思ふ

斯くして上海事件解決の具體的提案を採擇した意義ある理事會は僅か五十五分間にして目出たく散會した

侍從武官を南支に御差遣

【東京一日發】海軍ではかねて馬公要港部並に南支方面派遣中の海軍艦船狀況視察のため栗折侍從武官を御差遣の御沙汰に接してゐたが、同武官は一日午後九時二十五分東京驛を發し二日正午神戶出帆の瑞穗丸にて渡臺、六日寶山海軍無線電信所の視察を始めとして馬公、福州、厦門、汕頭を經て廣東方面にまで出張許に警備狀況を視察し三月二十九日東京歸着の豫定である

新滿蒙國の建設と滿鐵の重要方針
けふ重役會議に附議

十河の三理事を…（以下）…の具體的下打合はせが行はれたもの如く更にこの會議の結果は一日午後一時半から開かれる滿鐵重役會議に懸けられる筈である、かくて新國家の誕生を前にして滿鐵の對外方針も漸く具體化の時が近づき今後は懸案の諸問題が急速に解決されるべく滿鐵の對外事務はますます多忙となつて來た

關東廳異動

關東廳は一日附で左の如く異動

命金州民政署長	關東廳事務官　鬫原時三郎
命內務局地方課長	關東廳事務官　水谷　秀雄
免內務局地方課長	
命內務局勤務	關東廳警視　清水助太郎
補旅順警察署長	
補大連水上警察署長	關東廳警視　三澤　重義
補長春警察署長	關東　警視　清水　徹
補貔子窩警察署長	關東廳警視　鳥越　茂穗
補四平街警察署長	關東廳警視　飯島　慶藏
命警務局保安課長	關東廳事務官　星子　敏雄
命警察官練習所教官	關東廳警視　山口倭太郎
兼務警務局衛生課長心得	關東廳事務官　增田　道義
命朝鮮總督府警察官講習所教官	朝鮮總督府警察官講習所教授
叙高等官六等	從六位　亘　元啓
任關東廳事務官叙高等官五等	從六位　鬫原時三郎
任關東廳警視叙高等官五等	從七位　鳥越　茂穗
任關東廳警視叙高等官六等	
任關東廳事務官叙高等官七等	從七位　三澤　重義
任關東廳警視叙高等官七等	從七位勳七等　清水助太郎
兼任關東廳警視叙高等官七等	關東廳　山口倭太郎
昇叙高等官六等	關東廳事務官　橫山　龍一
依願免本官	關東廳警視　加藤　芳香
依願免本官並兼官（各通）	關東廳警視兼外務省警視　武波　善治
	同　　瀧　貞藏

調査委員一行十一日發上海へ

【東京一日發】支那調査委員一行は三月十一日神戶發ダラー汽船プレシデントアダムス號で上海に急行し南支及び滿洲を視察し再び日本に來る事になつてゐる

芳澤外相を訪問

【東京二十九日發】聯盟支那調査委員一行は午後二時半外務省に芳澤外相を訪問來朝の挨拶を述べ敬意を表する處あつた

米軍艦全部太平洋出動
攻防演習の爲

【ワシントン二十九日發】米海軍省は軍艦の殆ど全部に太平洋に出動を命じた、勿論攻防演習のためであるが、これがため大西洋には殆ど軍艦がゐない事になつた

臺灣總督後任

【東京廿九日發】太田臺灣總督は愈々一兩日中に正式に辭任決定しその後任は目下詮衡中だが兒玉秀雄伯最も有力なる候補者に推されてゐる

人事

▲小澤太兵衛氏（大連時局後援會代表）一日入港長春丸にて歸連
▲品田直知氏（同）同上
▲阿部勇氏（滿鐵上海事務所員）同上來連
▲石井成一氏（滿鐵北平公所長）一日朝來連
▲佐草雄氏（滿鐵理事）一日二十二時發列車にて奧地に赴く筈
▲入江正太郎氏（滿電專務）從業員慰問のため錦州に赴いてゐた氏は二十九日夜歸連

三月一日、滿洲國建國宣言書が發布された、此地域に限り、爾今以後中華民國無く、華人無し。滿洲國萬歲、滿人萬歲。

◇

滿鐵巡捕一千幾百名、三月中に採用の準備成る、警務が第一急務たるは勿論で、手つ取早く其手續きが出來たのは心强い。

◇

國際聯盟總會は延期の模樣、擬なつゝいて蛇を出さぬ爲めに。

◇

二十九日の理事會、上海に圓卓會議を開く決議、解決の曙光漸く見えた。

◇

米國軍艦全部太平洋に集まる、大西洋はガラ空、勿論攻防演習の爲め。

◇

蔡廷楷義捐金四千萬元を獲得した、戰爭も政爭も賣買（商賣）である。

◇

張學良、財產の大半が烏有に歸したと知つた時、夫妻相擁して三日三晚泣き明した、之れ夫人の側近者から漏れた消息。

「東亞の謎」休載

武門血笑記 (71)

下村悦夫作 / 布施長春挿畫

行く春を追ふ者（二）

軈て、酒肴の支度が、召使の者に依つて運ばれた。

と、續いて、絹擦れの音も爽かに現れた女――。

水も滴るやうな大丸髷、色飽くまで白く、眉あと青く剃り落して黒々と鐵漿をつけた、妖艶そのもののやうな奥方風の女！それは白鷺のお蓮であつた。

彼女は透き通るやうな袷足を覗かせながら、臙脂の色も濃い茱萸の實のやうな唇を綻ばせて、歳三に會釋した。

「おゝ、これは〳〵」

流石の歳三も、眩しさうに眼を外らして、主人の顔を見る。

「いや、御遠慮無用、近頃召抱た召使の者でござる。さあ、お園、これへ參つてお客人に酌をせよ」

と、主殿はその嚴つい赭顔の頬を何時に爲く綻ばせて、上機嫌の様子である。

酒が始まると、今迄の堅苦しい様子と打つて變つて、座が何となく陽氣になつた。それに、二人とも心得てゐると見えて、お蓮の前では天下の機微に關するやうな話を避けてゐるので、自然、話は他愛のない世間話に移る。

「土方氏、貴公、一向に引かぬではないか、さあ、一盞參らう」

「醉人が御氣に召しませいで、お氣の毒でございますが」

と、此家ではお園と名を更へてゐるお蓮が、媚を含んだ目で嫣然笑ひながら、銚子を取り上げた。

「御婦人で挾み打は恐れ入ります」

歳三はもう微醺を帯びてゐる。

「天然理心流の勇者も、酒はから意氣地がない喃」

主殿は餘程の酒豪と見えて、手に持つた盃を、しつきりなしに口に運ぶ。

「理心流と云へば、土方氏、貴公京へ上つてからは、大分斬つただらう、喃」

と、主殿は好きな劍道の話に移る。

「左様、一寸數の分らぬ位」

と、歳三はその男らしい引締つた顔に、凉しい微笑を浮べた。

「手強い奴にも出合つたか」

「二三度位は、が、何んと云つても、一番手強いのは、此頃の洋式の鐵砲と云ふ奴でござるな」

「ほう、鐵砲！」

と、主殿は急に何事かを思ひ出したらしく、お蓮の方を向いて

「この間、お前に買つて上げた、あれを持つて參つて、お目にかけよ」

と、命じた。

お蓮が出て行つて、間もなく持つて來たのは、銀光燦爛たる新式の六連發式拳銃であつた。

「ふむ、これはまた、珍しい新型でござるな」

歳三はこの新式の武器を、玩具でも見るやうに、半ば好奇の眼と半ば輕侮の表情で、手に取りながら眺めた。

「此女が、女だてらに欲しいと云ふので、傳を求めて手に入れたのだが」

と、主殿の言葉に、歳三はその瞬間、驚いたやうにチラッと、お蓮の顔を眺めたが、すぐまた主殿の方を向いて

「お試しに、なられましたか」

「一度二度、試みたが、余はさんと駄目ぢや、が、此奴、欲しがるだけあつて、何處で稽古をしたのか、百發百中の名人ぢや」

歳三が、また、お蓮の方へはつと驚きの目を見張る。

と、主殿は――

「土方氏、余も、さんだ護衛の者を見附けたものだ、はつはつはつ……」

主殿は大聲に笑ふ。

「まあ、御前、御笑談を……」

お蓮も、その妖艶な顔を、薔薇の花のやうに綻ばして、笑つた。

不二映畫の滿洲配給 峯島氏が契約

不二映畫の滿洲配給權は新興キネマとの提携により大日活の手に歸するものと見られてゐたところ、同映畫の鮮滿配給權は釜山の松竹、河合所長の藤本省三氏が獲得し、同所員蒲生峰次郎氏が來滿して峰島河合映畫支社長と契約し、第一回配給は同社第二回作品渡邊篤主演「ルンペン餓大盡」第二回配給は同社第三回作品高田稔主演「愛慾の波止場」と決定した旨發表された

噂話

東活で超スピードを以て製作した「肉彈三勇士」は自由配給だといふので▲同映畫の興行價値百パーセントを狙つて小笠原雷音が昨日の朝急行で内地へ急行したが▲來る五日初日で大阪と同時封切で常盤座に上映の計畫であると▲「一本刀土俵入」でゴールインした帝國館は、近くまた千惠藏物の「國士無双」で滿歐を狙つて早くも宣傳に着手した▲また同館に柔道二段といふ猛者若松氏が事務員として入り倉重支配人はいよ〳〵その本分に立還つて活躍するとのこと▲不二映畫の配給權問題は早くから二番線作品なら今にもされると言はれてゐたところ、突然一番線契約が發表されセンセーションを起してゐる

西部讀者を優待 今夜沙河口劇場映畫會

鈴木傳明一黨の不二映畫第一回作品で近來の傑作としてその美しいカメラと共に絶讃されてゐる鈴木重吉監督、鈴木傳明主演の「榮冠涙あり」が今一日夜沙河口劇場に上映されるので本社西部支局ではこの名映畫を廣く西部讀者に紹介するため之を後援し讀者を優待することゝなつた、プログラムは「榮冠涙あり」の外松竹下加茂時代劇特作品月形龍之介主演一人二役の「河童又介」及び松竹蒲田ナンセンス映畫古谷久雄主演「落第未遂」の優秀番組で本紙折込みの優待券を持參すれば入場料一般七十錢を四十錢に割引する、なほ同映畫會は今夜一日限りで絶對に日延べせぬ

少女歌劇來連 今夜から大劇

日本少女歌劇座一行七十餘名は本日入港の長春丸で青島より來連し上陸後町廻りをなし今夕から大連劇場に出演するが入場料は特等二圓、一等一圓五十錢、二等七十錢小人三十錢であると

源太時雨

また長谷伸原作の三尺物で、やくざもの、愛慾を描いた日活特作文藝作品、清瀬英次郎監督澤田清主演、鳥羽陽之助、市川小文治、寺島貢、櫻井京子、米本八重子ら助演、寫眞は澤田清の源太と櫻井京子のお露（大連帝國館前後篇同時上映）

本社特選 新棋戰（其九）

香落 八段△花田長太郎
六段▲平野信助

【圖は二七玉迄の局面】
▲平野氏「持駒」金桂歩五ツ
△花田氏「持駒」角香歩歩

▲一五桂 △一六玉
▲二八金 △六八飛
▲二七桂成 △一二歩
▲同香 △一三歩
▲同香 △一四歩
▲同香 △二五玉
▲一九香成 △六六飛
▲四五成銀 △四七香

【土居八段講評】△花田君は敵は攻撃力が薄い故飽迄指し切り模様に導く意味の下に六八飛と自重したのは好い▲此時平野君はよく手懸りを保ちつゝ敵玉を左翼へ壓迫したのは共に好い方法である。

【萩原六段解説】平野氏の一五桂は一七歩と成つても同香と取られて面白くないので敵玉を狹くする意味に一五桂と打つたのである。平野氏の二八金は重い様だが自玉が强固な處へ敵玉が狹いので駒を得る意味と先手に三九銀を削いたのである。平野氏の二七桂成で三六成銀と寄つてゐると敵に一二歩と打たれ同香、一三歩、同香、一四歩、同香、二五玉、三五成銀、一四香、一三歩、一五玉一九金、一六玉と指されて面白くないので二七桂と成つたのである花田氏の六六飛は直ちに六一飛と成るよりも一旦六六飛と出て次に四七香打の順を作り敵の成銀を五五に寄らして手順に六一飛となつたのは四七香が幾分でも攻防に利くことになるので六六飛と一旦指したのである。

いはれも古き雛祭　桃の節句の物語　（二）

お雛樣は昔は母子を表現

▽……小林胖生氏のはなし

以上の外今でも神社、佛閣からお祓といつて紙で人形を作つて各戸に人數だけ配つてそれに生年月日を認めさせて佛の加護とその歳の幸福を祈る習慣が各地に殘つてゐます、この祓の式の人形が變化して木や竹で十文字を作りこれに紙か布で頭や着物を着せた天兒となり、それが變化して「お伽這子」になつてゐます、天兒は男女共通でありましたが「お伽這子」は女子專門のものになつて婚禮の時は必ず持つて行き寢室におくといふ習慣もありました

雛人形の始まりは つまりこれに端を發しだんだんと進化して來たものです、それで今日ひなは紙雛か立雛が本格とされてゐるのです、貞享五年の圖に毛氈に疊を敷いて雛を列べ元祿十年の圖には始を供へ雛などが備へてあります、享保十七年の圖に始めて雛段が一段あつて花が生けてあつたのを見ますと三月三日に今日のやうな雛祭をするやうになつたのは近頃のことで漸く三百年以來のことであらうと言はれてゐます、現代の雛は全く夫婦雛の形式となつてゐますが昔は夫婦でなく母子を表したものらしいといはれてゐます

元來醫術の進まぬ 未開民族にあつては病に祈つて治すこと即ち呪術が唯一の療法であり厄除けでありましたので産婦と生兒の肥立が惡かつたが或は肥立のよい事を祈るにもこの呪法によつたのでありまして、これを見ましてもこの母子の雛は最も産婦と生兒の肥立のよい事を祈る呪法に用ひた祓具であつたものが祝に變つたもので初節句を殊に重要視して祝ふのはこの間の消息をよく物語るものではないかと思ひます、雛祭は最初京都を中心として行はれてゐましたが江戸開府のころ次郎左衛門といふ人が京都から輸入して江戸にひろめたのです、それが

徳川中世から武家 を主として大名の祭を催すやうになり十軒店の繁榮を來し、玉司大名などが金銀などに飽かして凡ゆる人々の極致を盡して精巧華麗なものを作らせたゝめに一時は幕府から禁令が出た位で當時十軒店の七澤屋といふ店では非常に精巧な細工を施した立派な道具を作り出し贅澤を極めたのでありました、明治維新になつて五節句が廢されてこの雛祭も廢れましたがまた復活されて盛になり新時代の巧妙な技巧によつて昔の巧緻を極めた雛にも劣らぬ優秀なものが出來てゐます、この雛にも色々の種類が昔からあつて室町雛、元祿びな、治郎左衛門びな、芋びな

狩衣びな吉野びな 立びな、鴨川びな、芥子びな、絲びな、高砂びな、深草びな、内裏びな、紙びな、古今びななど樣々ありますがその他郷土藝術として多種多樣の雛り物があります

職業戰線を往く　彼女らの

これから腕を磨いて聽てサービス滿點

遲れ馳せ乍ら大連に現はれた麻雀ガールに聽く　（J）

▼▽…「麻雀クラブ開業いたしました、美しい親切な麻雀ガールがサービス致します」昨年の春麻雀倶樂部營業の願書が警察に提出されてからほとんど一年――やつと願叶つて後ればせながら五つの麻雀クラブがわがダイレンにその瀟洒な姿を現はしてからもう半月にもなりませうか？

▼▽…「麻雀クラブ！へえそんなものが出來ましたかね」と不得要領な顔付をする人が未だ絶對多數を占めてゐるでせうが、麻雀ファンの間におけるクラブの人氣は實にすさまじい限りで、どの麻雀クラブも連日滿員客止といつた有樣です、すでに麻雀クラブの出現が大連のトピックである以上、麻雀ガールもまた大連人士にとつて好奇の對照でなければなりますまい

▼▽…きけば「麻雀ガール募集」の廣告が出た時どこの麻雀クラブにもほとんど應募者がなかつたさうですが麻雀ガールの性質乃至仕事について或は募集した本人にもはつきりとその概念がきめられてゐなかつたのではないでせうか――がとにかく今日各麻雀クラブに二三人の彼女麻雀ガールがこの數日前から姿を見せてゐます、女給風の、女中風の、ゲーム取り然としたそれらの女たちの中に上品なお孃樣風の彼女も一二無いことはありませんが新生の麻雀クラブがかき集めたであらう大多數の麻雀ガールがこの快適な近代的な麻雀クラブにしつくり調和するまでにリファインされるには未だ幾多の月日が必要でせう

▼▽…事實比較的教養が低く、家庭がまづしく、何等の特別な技能のない彼女の姉妹が、友だちがたゞ好色な男達に媚を賣ることによつて彼女等のパンを獲てゐる現實を目に耳にきく時新たに麻雀ガールたらうとする彼女が又この女の唯一の資本を此處に利用しやうとすることは當然すぎることなのですけれど麻雀クラブの本質上彼女等の露骨なエロ戰術が失敗に終ることは想像にかたくないのです

▼▽…上品なサービス、行きとゞいた心づかひ、それに多少の色氣があれば彼女のサービスは滿點なのです、熱タオルをすゝめ、お茶とお菓子を運び、お夕はんの注文をきゝ、電話のとりつぎをすること――これ等が先づ現在の彼女のしごとなんですけれど、しかし麻雀ガールにはこれだけでは不足なのです

▼▽…麻雀ガールは勿論サービスが主なんです、ですからなるべくお客樣が氣持よく麻雀のお出來になる樣に氣をきかして御用をして差上げるんですけれどあまりうるさく立働いても却つてお邪魔になります、それよりひまがあればお客樣の麻雀でも靜かに拜見さして頂くやう、勿論何よりも麻雀をおぼえることそしてお相手がない時には私どもがお相手する位の腕はもつてゐなければいけませんわ

▼▽…東京で麻雀クラブにゐたといふ××子さんの話しはたしかに麻雀クラブの將來を指示してゐますとまれ今日大連の麻雀ガールは未知數です、玉石混淆の現在の麻雀ガールが如何に洗練され完成されるかは大連の麻雀倶樂部の將來をも左右するものでありませう

童話　谷の鐘　旗野二郎　6

カラスは、あたふたと、あはてゝとんでいきました。しげつた草むらをかきわけて、谷川におりようとしますと、「おい烏さん」とよびとめるものがゐます。

「だれかい今いそがしいんだよ」

「――」

鳥は、そのまゝ行きすぎようとしましたが、やはり、きにかゝるので、

「だれなの、今、私を呼んだのは」

すると、草むらの中から

「わしだ。わしだ」

といつて、首をもちあげたのは蛇でした。

「なんだ、蛇さんか」

「そんなに、あはてゝ、どうした」

「あはてるつて、兎さんが、うたれたんだよ。今、水をもつていつてやるところ」

「兎さんが？」

さういつたきり、蛇は、目をつむつて、づるづると、草むらの中にもぐつていつてしまひました。

鳥は、ちよつと道草をくつたので、またあはてゝ、谷水へおりていきました。

谷水は、苔の生えた岩から、ちよろちよろ流れて、水晶のやうにたまつてゐました。

鳥は、腰から、ニウムのコップをとりだして、水をすくひました。そして、こぼさぬやうに、兩手でしつかりもつてとびたちました。

ひやうしに、頭の上に、ごつんと、どんぐりがおちました。鳥は、それが、鐵砲の彈丸かとおもつてびつくりしました。そして、ニウムのコップをおとしてしまひました、もう一度、くみなほして

「よし、こんどこそは」

と、力んで、とんでいきました。

アサヒノボルー　中溝しんいち作（65）河野ひさし画

一　サルハ　ニゲルニイソガシイ　ソノハコヲカカヘテ　ホトケサマノアタマヘ

二　ブキヲモツタホトケサマハサ　ルノデ　タタク　ニ　カリ

三　コレヲミテサルハ　オホキバリ　マツカナ　オシリヲ　タテ　ココマデオイデ　ト　ハナイキ　ガ　アライ

四　クヤシガツタ　ボウズタチハ　ナニカ　ミミウチ　シテ　ソト　ヘ　デルト　ヘヤ　ヲ　ピツチヤリ　シメテシマツタ

滿日各地版

匪賊の襲撃說頻々 撫順不安に襲はる わが守備隊等出動

【撫順】撫順守備隊は二十九日朝營外前甸子に約二十名の騎馬賊及びその後方に數百名より成る本隊ありとの報に接したので午前十一時三十分角田中尉以下〇〇名をトラック數臺に分乘せしめ新屯方面より之が討伐に派遣した、尚二十八日夜は今朝撫順城を襲撃したる賊目趙亞洲賊團の報復襲撃を始め午後九時頃は前甸子より三百の匪賊撫順へ來襲前進中其他午後に入つて各地に匪賊出沒の報頻々として傳はるので川上隊長以下隊員一同は何時にても出動出來るやう準備し手具脛ひいて出動を待ち受けたが、前甸子の情報は誤傳と判明更に之と相前後して入つた欒棧街襲撃の報は場所柄でもあり相當確實性を認めたので〇〇〇隊大官屯發電所附近に出動せしめ敵情警戒すると共に、同十時を期し非常訓練の意味で撫順防備隊百名を召集し淨水池、機械工場、永安臺、東郷以東各炭坑の警戒に當らせたが何れも異狀なく廿九日午前七時引揚げた

る情報あり且つ李千戸屯附近には蝟集せる兵匪團蟠居せるを以てこれが討伐の目的を以て鐵嶺守備隊主力は田所大隊長自ら指揮して二十九日午前二時當地出發別働隊として中山大尉の一隊は支那公安隊と協力して張家樓子方面に出動したが主力は午前十時頃石灰窰子に於て百數十名の兵匪と遭遇交戰の結果敵十數名を殪し馬匹其他多數の鹵獲を得我軍には損害なしと

山頭堡に匪賊

【鐵嶺】廿九日午前十一時頃山頭堡東方三支里闞山勾に約三四百名の兵匪襲來せる情報あり調査の結果兵匪頭目は不明なるも晝食中にて移動する模樣なく平頂堡附近は警戒中である

撫順は絶對安全 斷じて一指も染めさせぬ 撫順の當局者は語る

【撫順】頻々たる匪賊團の襲撃出沒に昨今撫順及び近隣の部落民が可成りの不安脅威を感じてゐることは屢報の通りであるが當局では二十九日左の如く最近の匪賊狀勢に關し語つた

撫順附近は昨今の匪賊動靜に一般に脅威を受けてゐる狀態である、これは這般來の滿鐵以西地區に於ける匪賊の大討伐に依つて敗走賊が本線を横切つて東方即ち奉撫線南部方面に移動し來つて沿線附近を脅し、ゐるのと東北方鐵嶺縣境に蟠居せる頭目趙亞洲、金山好、放振國等の配下が又今は餘りやつて來ぬが南方本縣々境には鏁子戸頭目の配下等が今尚横行してゐるしその間小部隊の辻強盜であつたり或は播種期前の鮮支農民が前途を憂慮してゐる等の關係から種々の流言的情報が流れ飛ぶうち撫順城の襲撃さ來たものだから不安をかこち脅威を受けるのも尤もなことである、事實過日來は匪賊の移動出沒事件も多く殆んど周圍各所に毎日の如くあるので當方の警備警戒も目まぐるしい狀態でもう十日ばかりといふものは夜の目も眠らず寧ろ九月の事變當時よりも忙しく緊張して居るのである、匪賊團の

位置や 兵力も當方には分つてゐるわけで奉撫新井子の南方二、三里の地點には頭目劉海泉干子藻の約四五百名がゐて終始線路の一、二粁近くまで出て來るが銃器彈藥少く質が惡いだけで附屬地や驛をどうしやうといふ考へは持たぬやうである、併し食に窮すれば物資をとるため千金寨等物資多き所を襲はんとも限らぬのでゆるがせには出來ぬ、趙は配下二千と稱してゐるも左程になく元來が縣下下章警出身で配下も殆んど土匪である、金山好、放振國は趙と合體し縣境に蟠居して配下七千と號してゐるもこれも實際は千五、六百に過ぎぬが之等はまだ本格的な討伐を受けてゐないため相當の銃器、彈藥及び

馬匹も 持つてゐるし部下には北大營の敗走兵や公安隊員等も可成參加してゐるので相當兵力を持つてゐるし、渾河も結氷してる折だから北方の警備は特に注意を要するわけである、右の如き狀勢であるから近々に於てこつぴどくやつゝける機會があるべく信じてゐるしそのうち悉く殲滅せねばならぬが、如何なることがあつても附屬地や千金市街などは一指も染めさせぬと同時に絶對安全だと斷言して宜しいと思ふ

わが守備隊 匪賊と交戰

【鐵嶺】廿八日朝撫順城內を襲撃したる賊團は鐵嶺縣內に逃走した

匪賊三名と交戰 公安隊幹部戰死 大疙　城の匪賊事件

【鐵嶺】去る二十三日午後七時半頃西安縣大疙瘩城內小什字街果物商李鳳儀方に顧客を裝ひ闖入した三人組強盜あり拳銃を擬して家人を脅迫現大洋二百五十元を強奪の急報により公安局長李仁才、騎兵連長張正喜、迫擊砲中隊長李春山以下從卒五名現場に急行屋內に入らんとするや強盜は發砲しつゝ逃走を企て猛烈な交戰の結果賊一名を逮捕したるも二名は巧に行方を晦ました、此交戰に於て李春山中隊長は即死し張連長重傷を負ひて間もなく死亡し從卒二名被害者主人も輕傷を負ふた、併し中隊長の死が背後から擊たれた形跡あり殊に所持せる拳銃が強奪されてゐる點より推して逃走する賊の仕業に非ず或は同士打ちなるやも知れずとの疑ひが濃厚でありまず市民は僅か三人組強盜の爲め公安隊幹部二名が射殺され三名の負傷者

寒行の淨財 五十圓を滿洲號に寄附 奇特な一老女

【熊岳城】今回滿洲號の獻金に對しては各方面より奇特の淨財が集つてゐる樣であるがこゝに年老たる女性の信仰の結晶として金五十圓也の獻金方申出が當熊岳城派出所にあつた、それは熊岳城緒田驛長母堂いち子刀自が嚴寒二十餘度を下る寒風を犯して六十幾歳の老軀をもいとはず謹て觀音、弘法大師の熱心なる信仰者である所より單身沿線及旅大方面の寒行に三十餘日間寢食をも忘れて巡禮し戰死勇士の英靈に對する供養獻燈を兼ね經貸を自辨して供養せられた金圓也に自己の小遣錢を加へ丁度金五十圓也として獻金したものであるかうして建造された軍用飛行機が吾人の頭上を飛ぶ時を想像して滿悅の態である

分會長らに感謝狀

【鞍山】鞍山獨立守備隊第三中隊の內務檢査及兵器檢査は廿九日午後二時より岩田第三大隊長來鞍し施行せられたが時局以來殆ど晝夜の別なく兵器を使用せるにも拘らす內務も兵器も完全にして無事に午後四時檢査を終へたそれより鞍山在鄉軍人分會長久留島秀三郎氏及び製鐵所自動車運轉手碓井政光、中田義夫、鞍山消防隊長伊藤左仲等の諸氏に對し感謝狀の授與式を行ひ午後五時より鞍山倶樂部に於て鞍山有志と懇談する處あつたが感謝狀は左の如し

感謝狀

帝國在鄉軍人會鞍山分會長
後備役陸軍工兵中尉正七位　久留島秀三郎

氏は人格德望共に高く且平素より國家的觀念頗る熾烈にして加ふるに鞍山製鐵所に在りては採鑛課長の樞要繁劇なる地位なるに拘らず常に良く五百有餘の在鄉軍人の指導誘掖に盡力し其成績見るべきものありたり然るに昭和六年九月十八日滿洲事變突發するや或は自衞團の組織を或は備防隊の編成を企畫し又常に進んで守備隊に連繋をとり守備隊の出動等に際しては各種の便宜を與へ且後顧の憂をなからしむる樣各駐屯地の警備に關しては絶大なる努力を拂ひたり殊に在鄉軍人中未敎育者に對しては一刻も速に敎育訓練を完成せしめざるべからずとて約一ケ月每夜自ら之れが指導の任に當り尚又五百有餘の分會員を指揮し非常呼集演習、防備隊演習及示威行軍等を實施して在留邦人を安堵せしむると共に有事の際絶對に不覺を取らざる事に就き寢食を忘れて盡瘁せり、恰も十二月二日千山驛西南方對面山附近舊坑道內に兵匪侵入しあるの報に接し鞍山守備隊第三中隊は山元中尉以下一小隊を以て之れが討伐に向ひたるも坑道奧に於て屈曲しありたる爲め如何とも爲し能はず　乃ち同日夜半十時頃該坑道の爆破を電話を以て同氏に依賴するや直に之を快諾して夜間にも拘らず「ダイナマイト」二十五瓩五〇とこれが取扱人數名を伴ひ最短時間を以て現場に到着し暗夜の中に而も危險を冒し從業員を指揮督勵して爆藥裝置作業を終り三日午前一時廿分頃遂に見事坑道の爆破を敢行し兵匪を悉く死に至らしめたり、斯くの如きは全く同氏の獻身的奉仕の念極めて旺盛なる結果と稱し得べし、之は要するに分會長として平時は勿論今次事變の渦中に於て邦家の爲貢獻せる功績は頗る顯著なるものと認む仍て玆に之を感謝す

昭和七年二月二十九日
獨立守備步兵第三大隊長
陸軍步兵中佐從五位勳四等　岩田文男

感謝狀

鞍山消防隊長　伊藤左仲
鞍山製鐵所用度課發着　中田義夫
鞍山右同　碓井政光

客年今次の滿洲事變勃發するや[illegible]習得せる自動車運轉術を以て[illegible]ら之を操縱し進んで遼陽劉二堡に又は風雪甚だしきの日騰鰲堡の示威行軍に參加し第三中隊の行動を容易ならしめたり殊に二月六日劉二堡北方約二里背堆子に於ける兵匪逮捕に際しては敵は堅固なる望樓にありて監視嚴重なるに拘はらず愈々其の優秀なる技倆を發揮し勇猛果敢危險を冒して突進し遂に敵をして挑戰するの暇なからしめ我に降伏せしめたり又家宅搜索に方りては率先之に從事し巧に隱匿せる多數の銃器を發見する等第三中隊をして所期の成果を收めしめたるは氏の獻身的活動に據る所大なるものと認む　仍て玆に此の狀を贈り感謝の意を表す

昭和七年二月廿九日
獨立守備步兵第三大隊長
陸軍步兵中佐從五位勳四等　岩田文男

陳相屯驛長脅迫 獰猛な劉海泉の一味

【安東】安奉線陳相屯北方に本據を置き機を見ては附近村落を襲撃してゐる獰猛なる匪賊の頭目劉海泉は二十九日陳相屯驛長に對し左の如き脅迫狀を送つて來たので我軍警は目下警戒中である

驛長貴下に呈す本司令は目下遼陽縣第一區史家寨に駐屯してゐるが彈丸必要につき本書面披見の上卅年式步兵銃彈四千發、卅八年式步兵銃彈五千發、重機關銃五挺を二日以內に貴驛より東北方史家寨前衞救國司令部に送附せられたし若し要求に應ぜざる時は貴驛を襲擊し鐵道及び電線を破壞すべし

氣味惡い書翰

【鐵嶺】當地城內萬升恒に雇はれてゐた某は最近馬賊の群に投じ目下金山好の部下として大甸子に居るが二三日前舊主人たる萬升恒に宛て金山好以下合流兵匪三千は目下大甸子にあり頭目會議の結果當地は今や食料もなき爲め止むなく再び鐵嶺を襲撃するに決し近く決行の模樣あるにつき貴家は今の間に生命財產の安全な地に避難される必要ありと注告とも脅迫ともつかぬ薄氣味の惡い書面を送つて來たと

馬賊長山好 歸順を申込

【鐵嶺】去月上旬頃より新台子西方石佛寺を中心として附近各部落を放火掠奪し石佛寺に對し屢々脅迫狀を送つて人心を怖えさせ其部下も四五百を擁し一大勢力を有してゐた馬賊頭目長山好も時の流れを觀し新政府に抵抗するの不利を悟り最近遂に歸順の意を決したるもの、如く部下に對しても歸順の同意を求めたが幹部連はこれに同意を表したるも大多數のものは強硬に反對論を唱へこれが爲めに內訌を生じて分裂の止むなきに至つた爲め彼は益々歸順の意を固め傳手を求めて二十八日當地守備隊に出頭誠意を披瀝して歸順を申出たので目下憲兵分遣隊に於て取調べ中である

首都を移しても經濟的には發展 長春奠都問題と奉天の今後で 磯田正金副支配人談

【奉天】多年軍閥の苛政に塗炭の苦みに喘いでゐた東北三千萬民衆は更生新國家の現出によつて誅求の苦から脱するを得何れも再生の喜びに浸つてゐる、同時に又奉天が新國家の首都として發展するものと多大の燭望と期待がかけられて居たが今回一般の期待は裏切られ新國家の首都は長春と決定されたので俄然首都問題を中心として種々の議論が擡頭しつゝあるが右に關して正金磯田副支配人は左の如く語つた

長春奠都は奉天にとつては相當影響する處は大きいでせう、總べての政治機關が長春に移されるとなれば、今日まで一般の人が奉天は丁度日本の東京見た樣に大發展をするものと期待して居つたのですからね、從來奉天における重要機關は殆んど軍閥で、物資購買者の多くも亦軍閥が多かつたでせう、今回軍閥はなくなつたがそれに變り、奉天が政治の中心となつて從來に倍する殷盛な都市となるものと一般は大きな期待を持ち種々準備計畫中であつたのが全然反對となつた爲め一般はガッカリして居る譯でせう、然し奉天は將來經濟的には發展するでせう　長春に首都が變更されるとしても多額の經費を要するだらうがそんな金は何處から捻出されるでせうか、何れにしても直ぐに大發展をなすと云ふ譯ではないでせうが奉天の都市發展上から見れば相當大きな問題ですね

尚又最近の銀價及び對外爲替關係に付いて左の觀測を漏らした

最近の銀高は勿論銀塊高にも依るでせうが、支那側の銀高は一般の人氣で動いて居るのと他方では上海市場の取引停止が原因と對外關係もあるでせう、將來の豫測はつき兼ますね、對外爲替も暴落を續けてゐるが之も對外々交關係と一つは上海事件に依るものと見られてゐる樣に於ても何等かの對策をとるとすが此の上暴落するとせば政府せう、支那との取引も未だ事變直後で捗々しくないでせうが銀高は支那側の購買力を增進する事となるが世界的に銀は安いのだから今後どうなるか豫想し難いですね

地委側の對策

【奉天】奉天地方委員聯合會は廿九日午後一時から奉天事務所會議室に於て開催地方委員聯合會各地提出議案に關し審議されたが劈頭新國家の首都問題につき緊急動議起り長春奠都で討議が行はれたが結局議長副議長を含む特別委員五名を選定し要路に對し長春奠都に至つた理由を質すことになり聯合會提案につき審議をなし午後四時頃散會した

夕宵の開原城內で補助憲兵狙擊さる 膝に中つたが幸ひ輕傷

開原憲兵分遣隊附補助憲兵一等兵崎山勇造氏は二月廿八日午後七時頃大野憲兵上等兵外三名と開原城內巡察中開原縣政府裏通に於て何者かにピストルにて狙擊せられ右膝關節に盲貫銃創を被り直に開原醫院に入り應急手當を受けたが彈丸は幸ひに皮下に止まり關節等に損傷なき見込である同氏は廿九日十二列車にて滿鐵成病院に入院した

於て二十八日それぞれ協議を重ねた結果、同日奉天に於て開かれた日本人大會に於て決定を見た方法に基き日支人共同を以て大々的に舉行さるゝことに一致した、時日等は未だ未定である

支那の青年聯盟に 復縣より代表を

【瓦房店】新國家の設立と共に各地に宣傳されて居る支那側青年聯盟の組織は漸次具體化したので奉天に於て三月一日を期し其發會式を行ふべく復縣よりも其代表者數名出席した

避難鮮農の原地歸還は困難 萬寶山へ歸る者五百

【長春】朝鮮總督府及び在滿各地の領事館では日支事變により避難中の鮮農を原地に返し孜々として經營して來た水田の耕作に當らしむる方法を考究中であるが彼等の殆どは慘酷なる兵匪のため肉親と別れ或は多くもない財物を掠奪され悲慘の極に晒されてゐるため原地歸農は頗る困難と見られてゐる長春避難中の者も二千名からあるが萬寶山に歸る鮮農は百三十五戸五百名餘でこれに對しては東亞勸業が投資せないことになつたので長春領事館から右鮮農のため種籾買入れ排水口修理、堰止工事、本秋收穫期までの食料、開墾費、住宅新築、雜貨等に充當する一萬二千九百九十五圓の補助をすべく考慮中であるが本年の耕作豫定地は三百天地となつてゐる

鳳凰城に日曜學校設立

【鳳凰城】當地滿洲養蜂場の經營主にして本派本願寺淨慶寺住職高海宣領師は今回有志者の懇望により日曜學校を組織し本月廿八日開校したが其の趣意は師の誓ての總本山の基礎として子弟の情的教養を目的とし道念の涵養に奉仕したいと云ふのである、授業は毎日曜日午前十時より一時間乃至二時間とし參加兒童に對し何等費用を要せぬと

大阪貿易商 見本展示會

【奉天】大阪滿鮮貿易同業組合主事藤原保五郎氏は二十九日朝來奉各方面を歷訪挨拶を述べたが同業組合の見本展示會員一行は二日來奉同日は午前九時から午後五時までヤマトホテル地下室に於て見本展示會を催し三、四の兩日は撫順で展示商談をなし四日夜九時二十分發列車で長春へ向ふ豫定である

阿南侍從武官

【鐵嶺】在滿軍隊將兵の勞苦を思召され畏きあたりより御差遣相成りたる侍從武官阿南惟幾氏は聖旨を奉戴して來る五日午前十時廿八分着列車にて來鐵當地駐屯各隊は勿論衛戍病院に入院中の戰傷病兵に對して聖旨を傳達し即日午後四時半特急で離鐵公主嶺に向ふ

工業實習所入所試驗

【撫順】撫順に於ける今春入學試驗の皮切りである工業實習所の入所試驗は二十九、一日の兩日間に亘り千金寨の同所內に於て執行されたが募集人員六十名に對する志願者は百六十一名で前年の二百六十五名に比ぶれば百名以上も減じその上不參者が十五名もあつて實際受驗者は百四十六名に過ぎなかつたがこれは事變等の關係で主として內地の志願者が減つたためであると、尚合格發表は七日乃至五日の豫定

巡捕採用試驗

【長春】南滿沿線六ケ所に新しく二百名の巡捕を增員することになつたことは既報したが長春警察署では二百名中二十名を置くことゝなりこれが採用試驗は二十九日午前九時半より警察署內教習所で行はれたが應募者は支鮮人合せて六十八名であつた

大阪商議理事

【奉天】大阪商工會議所理事高柳松一郎氏は三月十六、七の兩日奉天で開催される日本商議支那問題常設委員會に關し奉天商議と打合せその他のため廿九日來奉した

十五氏の遺骨

【奉天】匪賊の頭目老北風、海山等の毒手に斃れた安藤隆盛氏以下十五名の遺骨拾ひのため安川松五郎、黑木新平氏その他知人遺族十五名は廿七日奉天を出發し目的地の盤山、沙嶺方面に向つた

新國家祝賀 金州でも盛大に

【金州】金州における新國家建設の祝賀方法については日本人側は市に於て支那人側は政務會に

沿線往來

▲長岡駐佛大使　赴任の途次廿九日十三時着安奉線にて奉天着
▲關西滿鐵局長　廿九日奉天着
▲岩田文男氏(第三大隊長)　は二十九日急行にて鞍山へ
▲岩澤猛氏(公主嶺正隆支店長)　二十八日急行列車にて赴任

長春

神代列車區長

長春列車區長神代新市氏は今回四洮鐵路管理局派遣員として榮轉赴任することゝなつたが同氏後任としては撫順より宮城調明氏來長二十九日は兩氏相携へて市內各所を歷訪更任挨拶をなすところあつた

開原

軍警慰問費に 藝者らの獻金

開原二業の藝者一同は二月廿八日金十八圓に軍警慰問費の端に御加へ下さいとの書面を附して開原時局後援會へ提出したので小川會長はその芳情を諒とし喜んで受納し近く催すべく計畫中の軍警慰問會の費途に充つることにしたと奇特なことである

建國運動に開原縣長ら出奉

二月廿八日奉天に催さるる縣名建國促進運動に參列の爲め開原縣長丁乙斎、徐□務會長陳公議會副會長外三名は二月廿七日奉天に出張した

地方委員茶話會

開原地方委員會は三月一日午後一時より開原地方事務所樓上に全員集合し第九回地方委員聯合會各地提出議案に付審議賛否を決する由

陸軍記念日典と建國祝賀方法打合

開原時局後援會は三月一日午後三時委員全部を地方事務所に集め三月十日の陸軍記念日式典及滿洲國建國祝賀方法等につき協議をする

鐵嶺

鐵嶺卓球大會

全鐵嶺ピンポン大會は例により本社支局でもこれを後援し優賞チームに銀メダルと準優勝チームに銅メダルを寄贈した、出場希望者は三人一組とし會費三十錢を添へ松屋運動具店又は滿鐵社會係に申込まれたい

奉天

孔子廟の祭典

廿九日は孔子廟の祭典日に當つたが奉天市長趙欣伯氏は午前中折柄の雪解けの悪路を冒して南門裡の分廟に詣で懇ろに拜禮したが市長は大の孔子崇拜者（大本敎信仰者とは誤りであると）で今後は年々盛大に催す筈で當日は一般の參拜者も多數であつた

招魂祭を執行

來る十日陸軍記念日當日奉天に於ては午前十時から忠靈塔に於て招魂祭を執行正午奉天高女校講堂に於て祝賀會を催すことになつたが當日の會費は一圓である尚九日午後六時半から春日小學校で軍事講演並に活動寫眞が上映される筈

野添書記長

日本商議滿蒙視察團一行を案內して吉林、ハルビン、チチハル等北滿を視察した奉天商議野添書記長は二十八日夜歸奉した

安東

無責任な縣長

寬甸縣公安第八區楊木川居住の安部人富豪李德山外廿名は連署して同地公安分局長を經て同縣長張之翰に對し

日支事變勃發するや安東、鳳城縣內に駐屯中の軍隊及公安隊は日軍に擊退され寬甸縣地方に侵入し自稱中國義勇軍なりとて民家、富豪を襲ひ掠奪暴行を逞しうしつゝあるにも拘らず當局は何等の取締を爲さず一般住民は恐怖し安東奉天等の安住地に移住せんとするも彼等は之を親日派なりと阻止し住民は實に苦境に陷る狀態なれば至急何等かの取締方法を講ぜられたし

と陳情したのに對し縣長は楊木川公安局長採辦をして左の如き無責任極まる回答を爲さしめた

日支事變は益々擴大を告ぐるに至りたる爲め敗殘兵の橫暴は熄滅せず官憲としては之が取締に腐心し居るも事變一段落を告げれば敗殘兵の□藩不可なり就ては時局柄止むを得ざる事情なれば彼等の暴行を避けるため多少の要求に應ずべし

開いた育兒館

安東育兒館も開館されて漸く茲に二旬を越し、現在では四、五名の幼兒が朝から晩迄終日を規則正しく保姆に從つて導かれてゐる成績は極めて良好で幼兒の生活が非常に力あり望みあつて正に天國の感さへあり、何事も周圍の影響から伸び行く幼兒であるだけに育兒館の現狀は眞摯そのものである

それに幼兒の氣分が一致し素直で團體氣分を充分に養ひ「オヤツ」のときでも手洗場所へ列をなして進み順當に、嗽ひ、手を洗ひ、濟み次第食堂へと云ふ風に凡て規則正しく朗かに卽ち純に素直に育てることをモットーとし、諸施設の完備託兒者も漸次增加しつゝあるので保姆は勿論社會係としても非常に喜んでゐる

鞍山

蔡憲兵補遺骨

十九日敦化にて戰死せる吉林憲兵隊敦化派出所勤務一等憲兵補（伍長相當）蔡達獸氏の遺骨は廿七日午後七時着列車で南下したが驛頭には多數出迎へあつた

盛況の將棋大會

二十八日午後一時より南三條町植田繁三氏方に於て鞍山ヘボ將棋大會を開催したが競技出場者は富永次長を始め阪元理事、正隆支店長鈴木精一氏、太田瓦斯支店其他十數名の天狗連が集り紅白戰並に個人試合を擧行し盛況を呈し夕食を取るのも忘れ深更まで盛に戰つたが紅組四十二對白組四十四にて白組の勝利に歸した、個人賞A組は明治屋の富安萬里氏一等賞に入賞、B組は遼東新聞支社長野尻彌一氏が一等に入賞した、競技修了後杯を擧げヘボ將棋大會を祝し午後十二時頃散會した

馬を盜まる

鞍山鐵道西客馬車營業吳古東（五〇）使用の馭者大業順氏（二〇）は二十八日午後三時頃二名の客を乘車せしめ鄕二堡に送つたが其の歸途劉二堡村外れにて強盜に逢ひ白牡馬一頭を強奪されたと同所公安局に屆出たので鞍山商務會に通知して來たが此の馬四は最近大洋五十元にて購入したものであるが或は業順氏が賣却したのではないかと疑はれて居る

出動部隊より禮狀

鞍山守備隊第六大隊に入隊した初年兵百八十餘名は山本中尉以下數十名の助教助手により第一期檢閱を終へ去る日〇〇方面に出動したが廿九日山本中尉より鞍山地方事務所時局委員會宛に一般市民各位に宜しくと禮狀が到着した

滿洲國祝賀會

鞍山時局委員會では一日午前十時より地方事務所會議室に於て時局幹事會を開催したが近く建設する滿洲國祝賀會は來る十日まで延期することに決定したと

今年の入園兒 百五十五名

本年度鞍山幼稚園に入園申込した園兒は百五十五名あつた地方事務所地方係では二十九日午後一時より小學校講堂に於て高眼科醫長により虎眼檢査を施行した成績は近日中發表すると

大石橋

愛犬を軍用に寄贈

當地廣津三色堂藥房主廣津三吾氏は廿九日獨立守備第三大隊本部に岩田大隊長を訪れ事件突發以來の辛勞を慰問し且つ自己の愛犬で軍用犬として最も適當なセパート種一頭を寄贈した、岩田大隊長は非常に其厚意を喜び立派な軍用犬に仕込み鐵道守備に偵察に斥候に役立て寄贈者の厚意に報ゆる筈

石電役員會議

二十九日午後一時より大石橋電燈株式會社樓上會議室に於て役員會を開催役員改選を行つたが左の如く決定午後二時半散會した

取締役（重任）小林才治
取締役　赤倉龜次郎
監査役　村上鐘文

熊岳城

安藤彪氏の『芳流曲』公演會

浪花節を近代藝術化した聲の創始者とも稱せらるゝ「芳流曲」の創始者安藤彪氏の公演會は二十八日夜滿鐵クラブで軍隊慰問を兼ね熊岳城俱樂部慰安部主催、熊岳城安藤彪後援會の後援の下に開催されたが公演曲目は菊池寬、久米正雄等の原作をそれ以上に其氣分を聲によつて表現した「父歸る」「恩讐の彼方に」「其の日の乃木夫妻」「獄右衛門と狆生女石」等多數軍人を始め滿堂の聽衆をして眞に此の新しき藝術の中に遊ばしめた

瓦房店

時局寫眞展覽會の盛況

本社主催に係る時局に關する寫眞展覽會は二十八日午前十時より午後四時迄瓦房店小學校講堂に於て開催したが陳列前より參觀者押掛け押すな〱の盛況を呈した殊に皇軍のチチハル方面の行動や錦州入城や又は馬賊の生活襲擊行動等の寫眞は最も興味を以て迎へられ非常の參考となつたと

徵稅を急ぐ

復縣々署にては例年農產物收穫期を以て大體徵稅の成績を擧げ來りしが時局のため收入不良を來したので今回各區に收金吏員を派遣し稅金の整理を行ふて居る

金州

滿洲號獻金 續々集まる

金州高野山金剛寺の大師講では寒行に依つて得た喜捨金を五ケ所に分けて寄贈したが滿洲號には金十圓を獻金した尙此の他多數の獻金を見て居るが各部局に於て集めつゝあるが結局千四五百圓に達する見込み

遺族戰傷者へ金　金十九圓二十錢關東廳種馬所員一同△二十五圓四十六錢金州警察署員一同△五圓本丸弘△二圓神野豊三郎△三圓五十錢關東廳臨時職員一同△十圓金州郵便局員一同

第二の反抗 (164)

三宅やす子　阿部金剛畫

青い灯（二）

お靜が相變らず「奧さん」の自慢話をするときに、いつも喜美はしよんぼりとした胸をひとりで抱きしめて居た、そのくせ「奧さん」についてきく好奇心は、ますます高まつて、何となく憎い「奧さん」の話を、よく聞かされて居たのだが、奧さんに逢つて御覽なさいれ、と幾度もお靜はすゝめた。

其うち東京に來るさうだから是非と云つてひきあはせる日を、お靜はたのしみにして居たらしいのだ。

そんな機會がのつぴきならないやうだつたら、お靜には何も云へないから、又こゝを逃げ出してしまはうか、などとも喜美は考へて居た。

でも、それきり、奧さんの消息が絕えて、お靜は心配して居たけれど、喜美は內心ホツとして居たのだ。

「あたしおくやみの手紙を今晩中かゝつても書くわ。あんたさきに寢んで頂戴」

お靜は感激して、すぐ便箋をひろげ、小机の前に後向きになつた。

喜美は

「ぢや、おさきにね」

床にもぐつて、夜着をかぶつたが、彼女の胸は動搖する。

奧さんはこれからどうするだらう、東京に出るのだらうか。田舍で暮すのだらうか。獨り身になつた奧さんは、これから自由に何でも出來るのだが――

お靜には何も訊けない。

喜美は獨りで想像を、いろ〱にめぐらせて眠れない。

「あら、喜美ちやん」

やがて、電氣をパッチリと消す音がして、お靜が傍に寄つて來た。

「まだ眠つてなかつたの？もう遲いわよ」

「どうしたんだか眠れなかつたの」

「あんた飲み過ぎたのよ。きつとカクテルなのめのめつて、今夜のお客、一寸しつこかつたわね」

「厭な奴よ」

「此せつは駄目だわ。勘定の危くないお客だと思ふと、そんなに限つて、いやにしつこいんだもの。あいつ、喜美ちやんをねらつてんのよ」

「さうだか」

「どうだか分らないわ。用心しなきやだめよ。あんなの、けちつぽだから、うつかりしたら、大變なことになるわ」

「みんなけちんぼだわ」

「さうれ――時節が悪いのれ。あたしたち、いくら一生懸命に働いたつて、このせつのやうぢやあれえ」

「ニず、今月の間代どうする？」

「まだ二、三日間があるから、何とかなるわ」

「だつて米屋の方だつて――」

「心配しないでいらつしやいよ。拂へないものは仕方がないわ。待つて貰ふばかしだわ」

「それや、さうだけど――」

「いやに世帶くさい話になつちやつたわね。さうでなくても氣がめいるよ――唄やうよ。いゝ人の夢でも見るに限るわ――喜美ちやんはいゝかげんに、喜美ちやんの好きな人を呼んでおしまひなさいよ」

「いゝえ、もつとほんとものの好きな人」

「誰、近藤さん？」

「いやなお靜さんれ。あれは駄目なのよ」

「駄目なことがあるもんか。役所に電話一つかけるだけのことぢやないの？」

「駄目なの――そいでもし來てくれなかつたら、もう私の生きてる張合がなくなるもの」

「御勝手様――さあ寢ようよ」

醫學博士
堀江憲治氏創見

塗るとすぐ

熱と痛がとれる

ネオホリミン

◉賞讃既に世界的!!

只一度の試用直ちに世評を立證す

肺炎・肋膜炎・盲腸炎
腎臓炎・神經痛・關節炎
打撲・腫物・腰痛
咽喉痛・肩凝・頭痛
熱・乳腫炎・感冒
百日咳・一般炎症

◉濕布劑と同視する勿れ

本劑は一般濕布劑の如く濕布作用をして患部の良轉を圖るが故に乾かぬ事のみを目的として調製せしものに非らずして本劑は含む成分が貼用と同時に透し病源の撲滅を圖るが故に直ちに鎮痛解熱の作用を營み治療的効果を最も迅速ならしむると共に濕性肋膜炎の胸水腎臓炎、腹膜炎の浮腫、腹水等未だ化膿せざるものは十時にして消失する等一般濕布劑とは斷然類を異にする獨特の特効を有する滲透治療劑なり

◉一度の使用以つて其眞價を知られよ

肺炎 四十度の高熱日二回の更新一夜にて平熱となり主治醫も其奇効に驚きつゝあり (高尾秀市 隅田勝治)

肋膜炎 本劑は滲出性肋膜炎に對し他藥の及ばざる強力なる吸收力を有し特に溶して使用する事なきを便利とす 臺灣總督府嘉義病院長 醫學博士 鈴木憲二氏寄

肋膜炎 十ケ月前よりの肋膜炎本劑使用三日目より痛薄らぎ十日目より全く其苦痛を去り今尚再發する事なし 三浦金三郎寄

淋巴腺炎 朝夕二回の更新二日にして全治特効藥として推奨す 菱木醫院長

打撲 肋膜部位の打撲二回の貼用にて痛み去れりとの事にて其後の使用を中止せるに激しき運動の結果再び疼痛を訴へたる故其後二回貼布せし處激しき運動にも何等痛を感ぜずと治癒を申出たり

盲腸炎 八年前より毎年苦しめられつゝありし難症四五回の塗布にて全く痛止り其後何等苦痛を覺えず 池田カツ子寄

瘰疽 初期 疽に應用して切開手術の要なく治癒せり。從つて本劑は他の濕布劑とは全く異る効力を有する藥劑なる事を認めたり 二項 平山病院長

腎臓炎 只一回足下に塗布して見事浮腫を去り其後一向再發せず驚異的特効藥として推奨す 種苗新聞社主幹 花見喜八郎寄

關節炎 關節炎に應用して良結果を得、他の濕布劑とは異る顯著の効力を有する藥劑なる事を認めたり 專賣局診療所

乳腫炎 五日の連用に依り全く治す 日吉病院長口述

感冒 熱高く肺炎併發の恐れありたるにホリミン横胸より胸部一面に塗布し外足下に貼用せしに凡そ七時間位にして全く解熱し治癒に向わしめたり 赤羽橋診療所

凍傷 一夜の塗布にて難症しもやけ見事全治再發せず 梅原新五郎

◉先づ聽け各專門家と實驗者の聲を

●本劑は温める手數を要せず

包裝
百瓦入 四五
三百瓦入 一・〇〇
五百瓦入 一・五〇
一斤入 二・五〇
二斤入 四・五〇
(本劑五十瓦の容積は一般塗布劑の百瓦程に相當す)

發賣元 東京市日本橋區大傳馬町七 東亞理化學研究所 電話浪花(67)六八四八番

滿洲發賣元 大連市浪速町一四七 日本賣藥株式會社 電話六一三九番

大連市監部通
嘉納合名會社大連支店
電話 七〇五〇・三一四〇番

産婦人科
婦人の病は婦人の手で
女醫 永井清子
永井婦人醫院
病室完備入院隨意
大連市若狹町四十三 電話三六六六番

如月寒の折柄
「湯化粧」は

ミツワ石鹸で先づ汚垢を洗ひ落しましてから、地肌の濕りをよく拭除つて、キレイな掌で煉伸ばした白粉(サーワの固煉か煉)を附けて撫伸し、乾きましたら再掌に殘つた白粉に水を足して煉伸し、擦込む樣につけて、最後の乾きで、水か微温湯で浮いた白粉をお洗ひ下さると、白粉が地肌に沁んで、素肌からの白さの様に美しく見えます。

此の二重の眞價

化學上の純石鹸でありますは勿論 特に最上の原料を扱ふに 特殊の配合と工程を以て致しますが故に

◎ミツワ石鹸

は作用が特に緩和で石鹸分を殘さず顏面と肌膚と毛髪を柔軟に整へる上溶解適度に些しのムダ無く 半途で溶崩れず三倍保つから經濟第一です

◎ミツワ石鹸 不斷に品質向上の爲に、夜科學的研究に盡しつゝある主要なる技術家諸氏
理學博士 小平勳氏
農學士 河村正鑑氏
工學士 三雲次郎氏
工學士 野中正夫氏

顏面と 肌膚と 毛髪の

◎ミツワ石鹸

化粧美を生かす

化學的作用が特別に緩和で 後に石鹸分を殘さぬ

◎ミツワ石鹸

て清潔に洗ひ整へた地肌へ 附着伸びよさ

純無鉛の サーワ白粉

を清水で適宜に溶伸してツケれば 濃淡自由自在に從來に無い美しいお化粧が出來ます

其の明るく冴えた化粧美!

この良質の石鹸をよく此廉價にて提供できますのも、大量生産の結果、即ち、偏へに各位御愛用の賜物に外ならず、厚く御禮を申上ます。

本舗 東京 丸見屋商店

B.21

曙の鐘（213）

倉田潮　河野想多畫

昭雍（四）

平津は荒まじい勢ひで山姥の面を「檨捨て身」にほうり投げたが投げると同時に身をおどらせて其の首をおさへこんだ。

怖ろしい技倆と荒まじい力と……それに敵の奇襲は待ちかまへてゐたことだつた。山姥は對手をわなにはめようとして、自分の方がわなにはまつてしまつたのだ筋肉のりゆう〱とした海賊船長の腕にしめつけられて、山姥の面は一時戰闘力を失つたやうに對手のなすままに身をまかせてゐた。

平津は頸をおさへこみながら、手を延ばして對手の假面をはぎ取つた。假面ははげたが、漆黒の闇で顔が見えない。

「名をなのれ。貴樣は誰だ、何者だ」

と平津は對手の體つきから男であるのを知りながら、低く唸るやうに叫んだ。と、山姥は苦げに叫びかへした。

「貴樣の方から名のれ、貴樣は、壯三では、ないのだな」

「さうだ。壯三ではない、貴樣も女ではないことは解つてゐるぞ。さ、何處の誰だ。名のらぬと締め殺すぞ。

「うーん」

と唸つたが、山姥の面は名のらなかつた。二人の息切れが闇の中に猛獸のやうに聞えた。

「まだ名のらぬか、かうしてくれる」

うつ——と力をこめて、息の根もとまれと平津は咽喉をくびりあげた。荒まじい力だつた。ごき〱と關節の折れるやうな音が呼吸のあらしの中から聞こえた。つひに山姥はこんがつきたやうに。

「名のる。名のるから、少し手をゆるめてくれ。苦しくて、言葉が、口が……」

「よし」

平津は少し手をゆるめた。さ、そのすきに山姥は下から平津をはねかへして跳び起きた。油斷なつまれたとは云へ、案外な力と撥に平津は驚かないではゐられなかつた。跳ねかへされてひよろ〱と立ち上つたが、しかしさすがに平津は左手で曲者の右手を握つてゐた。

「放せ」

と曲者はその手を強く引いた。

「何をする」

手は放したが、引かれた勢ひを利用してどつと平津に飢れかゝるやうに體あたりをくれると、背後によろめくのを耐える敵の力を利用して、反對に前へがつ●●はね腰で……。が、對手は體を平津の足の上にのせ、兩手を頸と胸とにからんでふら〱と宙に浮きながら攻撃をこらへた。平津の方がかへつて曲者を背に負ふたまゝ、自分の力で半間ばかり牀をよろめいてしまつた——突嗟にさう思つて姿勢をとゝのへやうとするより早く、曲者は足を互違ひに平津の體にはさんで、丁度鋏にはさんでねぢ倒すやうに、烈しくあほむけに平津を地に打ち飢した。思ひがけない身の輕さだつた。が、技倆は劣つてゐても平津は力と膽力に於てまさつてゐた。

飢れながらも彼は敵の着物の裾をしつかりと握つてゐる。曲者は起き上つて逃げやうとしたが、着物をつかまれてゐるのを知ると、猛然と平津の懷中に跳びこんで來た同時に平津の咽喉は蛇にまかれたやうに、グヾッとしめつけられて行く。平津は暫く身を動かさなかつた。

闇の中で二人の息が荒ましく唸るやうに聞こえた。殆ど沈默の格鬪だつた。沈默の格鬪の末につひに平津は敗れたのか。まるで死體のやうに體をのばして横たはつてゐた。咽喉は次第々々に烈しくしめつけられて、つひには敵の腕が平津の咽喉の肉に食ひ入るほどになつて來た。しかし、平津はなほ死んだやうに、敵のなすままに身をまかせてゐた。

第四十回 滿日勝繼碁戰（湯淺氏三回勝四回目）

先　秋元豐二郎氏　湯淺唯二氏

—【8】—

●一四一ソ十六　○一四二チ十六　●一四三チ十五　○一四四ト十五　●一四五ト十六　○一四六ト十七　●一四七ヘ十六　○一四八チ十七　●一四九ニ十四　○一五〇ニ十五　●一五一ハ十四　○一五二ロ十四　●一五三ヌ十七　○一五四ヘ十八　●一五五チ十八　○一五六ル十八　●一五七[illegible]　○一五八[illegible]　●一五九チ十四　○一六〇オ[illegible]

大河内傳次郎　突如！お寺の娘との結婚を公表

銀幕上の王者大河内傳次郎が突如お寺の娘との婚約を公表した！映畫俳優と僧侶の娘！およそ奇妙なこの取合せがどうして生れたか？噂さの派がファンの間に轟々と擡き起つてゐる時、噂さの主人公からその詳細を發表された。いま華やかな人生の第二頁を繰り展げようとしてゐる大河内はその心境を何んと識つてゐる？大河内氏は特に「滿人世界」を選んでその三月號に委曲を發表してゐる。

けふの放送

東京　JOAK　三月二日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後六時五十分ニュース
▲英語講座「テキスト第四十三課」大連神明高等女學校山田長三郎
▲獨唱（イ）蓮の花、シュウマン作（ロ）かやの木山、山田耕作作（ハ）子守唄、ブラームス作（ニ）野ばら、ウエーバー作、滿鐵音樂會渡部良子
▲小唄數種、田村てる枝
▲浪花節「高濱八郎」吉川晴雲
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース
▲中國劇「擊鼓罵曹」連東倶樂部々員

大連　JQAK　三月二日午後六時三十分

▲時事講座「滿蒙と農業福民」京都帝國大學教授農學博士橋本傳左衛門▲ラヂオ風景「珍妙座談會」作並出演指揮池部均、出演者柳永二郎、藤輪和正、大矢市次郎、清水辰三郎、藤村秀雄、村田峰子、菊波正之助、飯島綾子、高梨俵堂柳田春子、山田巳之助、高根百合子、木村政雄、秋元梅子、澄川久其他和洋樂師衆

滿洲日報

新國家『滿洲國』の立國宣言
新政府の名において發表
けさ行政委員長張景惠氏より

新國家……國……で九……國新……に至るまでの經過を……

……午前十時二十分東北行政委員會委員長張景惠氏公館において滿洲……された、當日張氏は午前二時頃まで要人等と重要協議を續けたの……へて公館の大應接室に現れ待ち設けた日、支及び外……から欣然たる面色、嚴粛なる態度で建國宣言……茲に滿洲國政府の名において左の如き建國宣言書を發表したのである

建國宣言

我滿蒙の地は邊陲に屬し開國縣遠なり、これを往昔に徴するに分合揆ふべし、地質膏腴にして民風は樸茂なり、開放を經るに及んで生衆日に繁く物産豐穰實に奥府となす、然るに辛亥革命後共和民國成立して以來、東省の軍閥は中原變亂の機に乘じて權を攫取し、三省據りて己の有となし幾維相繼いで正に二十年に成らんとす、狼戻貪婪傲奢淫佚にして人生の休戚を顧みることなく唯々私利を是れ圖る、内は暴斂、橫征意を擅にしてその結果幣制紊亂し百業凋零するに至れり、且又時に野心を逞うして、兵を關内に進め地方を殘害し民命を傷殘す、一再敗衄するも尚後悔せず、外は信義を蔑棄して釁を隣邦に開き、悉く親仁の規に昧く、專ら排外を事とし加ふるに弊政修らざるを以て盜匪橫行して四境普く到る處據掠焚殺して村里は一空となり、老弱は溝壑に陷り餓孚は途に載す、我三千萬民衆が命を此の殘暴不法なる區域に託するは日を待たんのみ、何ぞよく自ら脱せんや今や何の幸ぞ手を隣市に假りて此醜類を驅りて積年軍閥盤居し秕政の萃衆せる地を一旦にして廓清する、これ天、我滿蒙の民に蘇息の良機を與へしなり、吾人の當に奮然として興起し邁往勇進以て更始を圖るべき處なり、唯々これ内中原を顧みれば改革以來初めは群雄角逐して頻年戰爭を起し、近くは一黨專橫して國政を把持す何をか民生といふ實にこれを死に置くなり何をか民權といふ、唯々利を專らにするなり、何をか民族といふ、唯々黨あるを知るのみ、既に天下を公となすといひ、又黨を以て國を治むといふ矛盾乖謬にして自ら欺き人を欺く、種々なる詐僞は究詰するに堪えず、近來内鬨屢次起り境土分崩し、黨すら自ら存すること能はず、何ぞよく國を顧みんや、此處において亦匪は橫行し災祲は洊りに起る毒は海内を痛ましめ民怨沸騰し政體の不良に痛心疾首して曩昔における政治清明の時代を追思し唐武三代の遠きは殆んど及ぶべからずとせりこれ我友邦人共に目睹し同じく感嘆を深くする所なり

夫れ二十年試驗の得るところをもつてすれば、其結果、こゝに至る亦曖然として返るべきなり、然るに尚、孩を諱み醫を忌みその舊慝を怙みみ民意は抑壓すべからざるに、諱を藉らんか、しからば其往く所は縱にすれば危く共產にいたり自ら亡國滅種の地に陷るにあらざれば已まざらんとす、今にしてわが滿蒙の民衆の天賦の機緣において萬惡なる政治國家の範圍外に振拔して自ら脱することを求めざれば、勢ひ必ずみな溺れ同じく盡くるにいたらんとす、數月來しばしく奉天、吉林、黑龍江、熱河、東省特別區、蒙古各旗盟の官紳士民の集合を經て詳に檢討を加へたる結果、意志すでに一致し惟へらく爲政は多言を取らずたゞ實行如何を見るのみ政體は何等を分たず、たゞ安居集團を主となす、滿蒙は舊時本國と別に一國たり、今や時局の必要により自ら樹立を謀らざること能はずと、即ち三千萬民衆の意向を以て即日中華民國と關係を離脱して滿洲國を創立することを宣言しこゝに特に建設要項を中外に昭布し咸に聞知せしむ竊に惟ふに政は道に基づき道は天に基づく、新國家建設の旨は一に天に遵ひ民を安んずるを主とす、施政は必ず信正の民意に循ひ私見を存することを容さず凡そ新國家は領土内に居住するものはみな種族の岐視尊卑の分別なき原有の漢族、滿族、蒙族および日本朝鮮の各族を除くほか、即ちその國人といへども長久に居住を願ふものはまた平等の待遇を受けることを得、その正に得べき權利を保證しそれをして糸毫の侵損あらしめず、並びに力を極めて往日の黑闇政治を剷除し法律の改良を求め地方自治を勵行し廣く人材を修めて賢俊を登用し、實業を獎勵し金融を統一し、資源を開闢し生活を維持し警政を教練し匪患を蕭請す、並びに進んで云へば教育の普及は正に禮敎を崇ぶべし、王道主義を實行し境内一切の民族をして熙々皐々として春臺に上るがごとくならしめ、東西永久の光榮を保ちて議會政治の模型となさんとす

その對外政策は信義を尊重して努めて親睦を求め凡そ國際間の舊有の通例は謹しみて遵守せざることなくその中華民國以外の各國とさだむるところの條約上債務の滿洲新國領土内に屬するものは皆國際慣例に照して繼續承認す、商業を創行し、資源を開拓するためわが新國家に投資を希望するものあらば何國に論なく一律にこれを歡迎し以つて門戶開放、機會均等の實をあげんとす

以上宣布せる各節は新國家の立國に關する主要なる大綱なり、新國家成立の日より始め新に組織せる政府においてその責任を負ひ極めて誠懇なる表示をもつて三千萬民衆の前に向ひその實行を宣誓す

天地照鑑す、この言を渝ることなし

大同元年三月一日

滿洲國政府

上海事件を解決する圓卓會議召集案採擇
和平の曙光に和かな聯盟理事會

【ジュネーヴ特電二十九日發】上海事件解決の曙光を得た二十九日の公開會議は緊張裡に午後六時十七分開會された、會議は五十五分にして議長提案の上海に圓卓會議を開き和平協調を討議せんとの案が採擇され、こゝに和平の曙光が見えて來た、この日の會議は非常に和やかに且賑かに行はれ英代表サイモン卿は議事開始前、傍聽席の友人に挨拶を送り、議長ボンクール氏は佐藤代表と何事か談笑し、謹嚴で鳴えた事務總長ドラモンド氏まで煩杖を突く等の氣輕さで如何にも重荷を下したといふ風に見えた、ボンクール議長はサイモン卿に目配せしながら静かに議事を進め佐藤代表も何時もの落ちついた態度に歸り支那代表顔惠慶氏もおとなしく傾聽してゐた

アメリカ政府はこの圓卓會議に參加し且つ我々が採擇せんとする和平協定案に對し飽くまで協力する用意がある

ボ議長の解決案内容
我代表請訓を條件に贊成

【ジュネーヴ二十九日發】上海事件を何とかして圓滿解決せんとの意氣込みで、非常な緊張裡に聯盟理事會公開會議は本日午後六時十七分から開會された、先づ議長ボンクール氏開會を宣し、同時に左の如く述べた

上海における日支衝突の結果戰線が大に擴張されんとし、同時に多大の人命の損傷を來す惧れあるに鑑み、余は理事會が上海事件解決のために凡ゆる機會を利用するに附せざらんことを切望する、尙英代表サイモン外相より聞くに兩國の事件解決のため新なる見込みあるとの事で誠に喜ばしい

次いでサイモン外相は左の如く述べた

余は數時間前本國政府より受けた報告によると支那公使ランプソン氏は、昨日午後停戰交涉のため日支兩國軍司令官會議を行つたと正式に報告して來た、日支兩軍司令官の會見は英東洋艦隊旗艦ケント號上で行はれ、二時間中に亘る交涉の結果、主義としては相互軍隊の撤退に同意したものである、次いで撤退地區問題の詳細討議行はれ、この停戰協定案は東京及び南京に送られ考慮を求むる事となつた、本日理事會を開く事は適當と思ふと結び、ボンクール議長は之に多大の滿足の意を表し上海事件解決のため左の如き提案をなした

一、日支兩國を含む關係各國の圓卓會議を即時上海に召集し兩國の戰鬪行爲の終熄に努力する

二、日本は領土的野心を有せず或は何等特別の特權を求めざる事を聲明し、會議に參加する事

三、支那は同樣會議に參加するも外國人の居留地は何等變更を受けざる事

次にイタリー代表デイノ・グランデ氏は議長の提案に滿腔の贊意を表し、英代表サイモン外相もこれに和し、左の如き重大聲明を爲した

三軍を叱咤する植田〇團長

植田〇團けさ八時半全線に總攻擊を命令
敵は總退却を開始か
大場鎭にて目下大掠奪中

【上海一日發】前原〇團司令部……〇隊の外新に敦賀〇隊を……全く完了したので植田〇團は全線に亘る總攻擊令を一日午前八時半發し……地に集注射擊を一齊に……

【上海一日發】皇軍の大部隊來着の報と村井總領事の……

支那調査使命
委員長ステートメント

……圓卓會議は上海地方における……開的行爲を中止し平和狀態……のため即時上海に召集する、參加委員は日支兩國政府並に關係國の代表を以つて成す、圓卓會議は次の二大原則の下に……

一、日本は何等政治的領土的……

……に贊成するものである……之に續いて議長は左の如く宣……

この提案は國際聯盟の地位或は日支兩國と各國との關係を妨害せず、制限を加へず專ら上海地方における即時和平協定を目的とするものである

新滿蒙國の建設と滿鐵の重要方針
けふ重役會議に附議

關東廳異動

米軍艦全部太平洋出動

芳澤外相を訪問

調査委員一行十二日發上海へ

臺灣總督後任

敵のダムく彈で、大タクの淺川君負傷

上海の第一線にて活躍中に

軍部で貴重な資料とし保存

上海事件勃發直後在滿邦人時局後援會の募集に應じ率先參加した大連の自動車運轉手諸君は日夜彈藥食糧或は負傷兵の後送等に身命をなげうつて活動中であつたが大タク運轉手淺川勇君は第一線において軍務を帶び活躍中敵彈のため左上膊部に名譽の負傷を受け直に後部衛生班に收容し手術をなしその經過良好であるが意外にも摘出した彈丸は國際協約により使用禁止となつて居るダムダム彈であることが發見され軍部では貴重な參考資料としてこれを保存することゝなつた右に關し大タクでは語る

淺川君が負傷したといふことはまだ通知がありません、同君は後援會の募集に應じて率先して上海に赴いたもので惠比須町の大タクもとの大和タクシーに永らく勤めて居りいたつて眞面目でお客の氣受もよかつたのです妻子が大和タクシーの車庫の二階に居りますが同君の上海行については奧さんも大賛成で上海行が愈よ定つた時には御國のために大いに働けると喜んで居りました、我々大タクの仲間から淺川君の如き人が出たことを喜びます、早く全快して異れる樣に心から祈つて居ります【寫眞は名譽の負傷をした淺川君】

慰問品が役立つ

上海から慰問使歸る

大連時局後援會より上海第二回慰問使として特派された小澤太兵衛一日入港長春丸にて歸連したが鑑田直知兩氏は使節の目的を果し中野兩氏は交々語る

この度第二回の慰問に當つては第〇團司令部第〇艦隊司令官陸戰隊本部等の各部隊及居留民に對しそれぞれ感謝慰問をなし持つて行つた清酒手車百輛、水罐四百個、麻繩、漏斗等を贈呈して來た、詳しい狀況は發表しがたいが混亂窮乏の上海にあつてこれ等の物件が直ちに軍部在留民の各方面に配付され多大の歡迎と謝意を受けた、廿六日午後一時一行搭乘の長春丸が吳淞沖に差し懸るや恰かもわが軍隊が吳 獅子林砲臺の攻擊中でたまたまそれを見て我々は感謝の涙を浮べ思はず萬歲を連呼した、上陸後市中の光景は慘澹たるもので特に廿二日に行はれた北四川路方面の敵彈による爆破狀況は凄慘目も當てられずこの方面の邦人は總べて虹口方面に集中してゐる、滯在中連日連夜砲聲殷々轟き渡り閘北方面敵軍の策動はまだ邦人に一抹の不安を抱かしめてゐる、しかし二十七日午後江灣鎭の敵陣地完全占領によりて局面急速に進展するものと思はれる、かつ複雜にして困難な上海の局面に處して皇軍各部隊が困苦苦心勞に堪へ着々豫定の効果を收めつゝある偉大な功績に對しては感激を覺える、次に第一回慰問の際派遣した大連トラック、バス隊は上陸と共に活動をつゞけ軍部、居留民から素晴しい稱讚を受け運轉手淺川原君の如きは左上膊部に名譽の負傷をした、肉彈三勇士の行爲については直接その隊の人に當時の狀況を聞いたがその壯烈な有樣は鬼神を泣かしむるものだ、持つて行つた水罐や手車は大歡迎で、水罐は灰色に塗つて手車を利用しドシドシ前線に送られてゐる、第一線からは水を送れ送れと傳令が來るが運搬するものがなく困つてゐるところへ持つて行つただけに大變効果を收めた

滿鐵社員避難

事變と共に辰巳屋旅館に事務所を移し執務中であつた滿鐵上海事務所では時局柄第一線に立つ必要のない社員を一應大連本社に避難せしむる事となり阿部勇氏外三名は一日入港長春丸にて歸連した

して上海派遣軍慰問金を募集することゝなり慰問金は上海事件關係の陸海派遣軍及びその家族遺族の慰問に贈呈することゝなほ事情によりてはその一部を上海在住邦人の慰問にも贈呈することゝし締切は三月十五日と決定した、同日三井八郎右衛門、岩崎小彌太兩男五萬圓宛、安田氏二萬圓、大倉男一萬圓の申込みがあつた

各省代表が訪問して

溥儀氏の出廬を懇請

三千萬國民の總意を傳へる

吉林代表張燕卿氏談

東北三千萬民衆が齊しく待望してゐた大滿洲國は大同元年三月一日を以て成立し同時に新國家組織の大綱は中外に宣言された、而して新國家の元首については東北行政委員會において數次に亘り審査熟議した結果三千萬民衆の懇望もだし難く愈々溥儀氏の出廬を願ふ事となりこれが懇請の爲め吉林張燕卿、黑龍江趙仲仁、ハルビン張景惠、奉天臧式毅、コロンバイル凌陞、哲里木盟蘇賁麟の各省長代表代理六氏随員九氏總勢十五氏は二十九日午後十時四十五分奉天發出發地へ向つた、出發に際し一行中の吉林代表張燕卿氏を訪へば、氏は流暢なる日本語を以て本社記者に對し左の如く語る

今回吾々一行六名の各省代表は新國家の元首として溥儀氏を推戴するに決し御出廬をお願ひに行くのであるが、今や大滿洲國家樹立に當り三千萬民衆が溥儀氏の御出廬を……てゐる、溥儀氏に……

民の總意をお聽き入れ下され大滿洲國に善政が行はれるものと信ずる、自分等は今回先づ全國民の意のある所をお傳へして氏の御快諾を希望してやまぬ、兎も角溥儀氏に交渉した上直ちに奉天に歸り東北行政委員會を開き推戴交渉の結果を報告し、更にその由を御傳へする考へであるがその代表として多分

張景惠氏が行かれる事になるだらう、歸奉は一日夜か若しくは二日の朝かと豫定してゐる因に溥儀氏の出廬は最早時間の問題となり氏は懇望もだし難く近日中新首都長春に向ふものと觀られて居る【奉天電話】

溥儀氏推戴決議文

奉天省代表が臧省長に提出

米飛行士の裁判開廷

あす上海で

【上海二十九日發】過般のロバート・ショート事件に關し本日午後五時當地米國裁判所から我總領事館宛、三月二日午前十時ロバートショートの死亡原因調査の裁判を行ふから立會はれたいと通知して來たので我方からは井口領事、乙津副領事が立會ふ筈である、如何なる判決が下されるか各國人間に

軍人後援資金で派遣兵家族救護

半額の百萬圓迄支出

【東京一日發】滿洲及上海事變による派遣兵召集兵等の遺家族救護については内務省では潮野政務次官以下局長部長等が總動員し全國に慰問及救護狀況視察に特派することゝなつたが、なほ出征又は應召のため生活の途を絶たれ悲慘な狀態に陷つてゐる家族も少くないのでこれに對しては軍事救護法を極力活用する外、各府縣の軍人援護資金を活用することに決し二十九日各地方長官に對し今回の事變による派遣軍人の遺家族にして特に貧困なる者の救護に要する費用に限り各府縣資金現在額の半額まで自由に支出して差支へなき旨通牒を發した

右軍人援護資金は從來年額二百二、三萬圓の利子のみを以て軍事救護法に該當する以外の軍人家族救護に當てゐたもので現在秋田、奈良二縣を除き各府縣の基金合計二百十九萬八千圓に上つてゐるが今回は特にその半額約百萬圓の支出を認めることゝなつたものである

阿鼻叫喚の寧古塔

兇暴極る兵匪

【ハルビン二十九日發】寧古塔に殺到した土匪は横暴にも内鮮人の代表的商店、家屋等を目がけて銃火を浴せ一物も殘さず掠奪し附近の部落も悉く兵匪の蹂躙の巷と化し目も當てられぬ慘狀を呈し鮮人家屋にして現形を止めぬ迄に燒打ちされたものもあり火災を起して黑煙天に沖し物凄き光景を呈し更に殺傷された支那人多數に上り鮮人諸所にした、る等同地方は今や阿鼻叫喚の修羅場と化して居ると傳へられる

丁超の命令徹底せず兵匪東部線に跳梁

萬一の場合國境の内鮮人は露領へ逃げ込まん

【ハルビン二十九日發】無條件下野を誓ふ反吉軍の巨頭丁超の命令徹底せず東鐵東部線の兵匪は益々兇暴の限りを盡し住民は地下室にもぐり込んで難を避けつゝありこの世ながら生地獄の感を呈してゐる、なほ露支國境方面の内鮮人は袋の中の鼠同樣になり萬一の場合は露領に避難する旨を傳へて來た

警察名義の使用禁止

各映畫館に

無料入場者の多いのに手を燒いた市内各活動常設館では大連署保安係の承諾を得「警察の命により御斷り」云々の制札を揭げることになつてゐたが、監督官廳が常設館の營業圏内にタッチするは面白からずとの非難に鑑み大連署では廿九日各館主を招致し、警察名義を使用することを禁じた

逢廓に警告

大連署司法係が犯罪捜査上有力な參考資料としてゐる逢坂町遊廓の遊興人名簿が最近營業者側の杜撰から記入されずこれがため往々にして犯人を取逃がす場合があるので一日高本中野正副會長を呼出し嚴重に記入さすやう警告を發した

齊克線は五日まで徒歩連絡

二月二十五日から開通した齊克線は三十三キロ橋梁修理のため三月二日から五日まで四日間各列車は徒歩連絡を行ふことゝなつたが六日から平常通り運轉を行ふ筈

坂西、花房兩氏あす來連

貴族院議員海軍少將花房太郎、同陸軍中將坂西利八郎の兩氏は貴族院研究會を代表し滿蒙および支那本國視察のため北滿方面を旅行中であるが二日來連し三日旅順へ往復、四日北行山海關線を經て天津に向ふ豫定である

神明高女生が一千圓獻金

けふ滿洲號建造費に

大連神明高等女學校生徒一同は焦眉下の時局に鑑み女性ながらも何か報國の赤誠を捧げたいと事件發生以來學業の寸暇或は冬の休暇を利用し小國旗製作、キユーピー、クリム、雜巾、日の丸辨當、正月料理、羽子板、節約獻金、外套毛皮縫附作業、愛國音樂會等により純益金二千餘圓に達したので曩に慰問隊を派遣し一千圓を軍部に獻納したが更に一千圓をわが「滿洲號」建造の一部として一日大連市役所に獻金して來た

どうか神明八百の乙女の赤心を乘せて一日も早く愛機「滿洲號」が滿蒙の天地に活躍し皇軍の威力を益々偉大ならしめ東洋平和の上に貢獻する樣萬祈して歇まないと云ふのである

豐富な砂金埋藏の黑河の未踏地探檢

黑龍江省の調査依頼に備へて

滿鐵で研究に着手

黑龍江省の國境をなす興安嶺を源とする黑河沿岸一帶には莫大な砂金が埋藏されてゐると傳へられ、さきに北シベリヤ地方で砂金の採集を行つてゐた露國人は同地方の砂金の埋藏から推測して黑河一帶には少くとも十一、二億圓の砂金があると發表した

しかるに同地方は殆んど探檢隊も入つたことがない未開の地であり勿論地圖なども全然なく砂金鑛の有無に就ても僅かに黑河上流に一部砂金を掘つた跡があり、從つてその下流には必らず砂金が出るものと想像し得る程度で全く見當の附けやうない現狀にあるが今や滿洲國の建國に伴ひ更生の黑龍江省政府は當然同省内の產業の開發、資源の調査に着手するべく、その際、資金、技術共に不足を告げる同省としてその調査に就て滿鐵の助力を仰ぐことは想像し得ることであり、その際に遺憾ないやう滿鐵にてもこれが調査に就ての根本案を練ることゝなつた

即ち調査方針その他のプランについては技術局が當ることゝなり、その具體的方法に就いては地質方面に最も交渉が深いため專ら技術局地質調査所が研究することに決定し既に本年初め調査所長木村六郎氏はチチハルに赴き太田チチハル公所長その他と下打合せを行ひ目下着々案を練つてゐる、從つていよく調査隊が出發するのは黑龍江省政府の希望があつてからと見られ、また準備に相當の日子を要するため早急の實現は困難と見られてゐるが何れにしても金鑛の調査には根本的な地質の調査が伴ひ更にそれ以前には全く未踏の地の地形の調査が必要であり、また同方面の治安は全く不安な狀態にあるためいよく調査にかゝるものとすれば相當大がかりの調査隊となるべく、また技術局では調査の完了までには第一期調査に五ケ年、第二期調査に五ケ年少くも十年間を要するものと見てゐる

□□慰問金

各富豪寄附

【東京一日發】日本工業倶樂部、日本經濟聯盟會、日華實業協會、東京商工會議所の四團體では共同

昨夜來出火頻々

提灯屋燒く

廿九日午後十一時二十分ごろ市内若狹町百五十一番地提灯屋貝野富雄方二階から發火木造建のため火は忽ち燃え擴がり同家を全燒、隣家の酒商花本磯方を半燒し十一時三十分鎭火した

原因は煙突の不完全から二階の板壁に引火したもので損害約五千圓、なほ活動中の消防署員六名は貝野方の二階が燒け落ちると同時に火中に投げ出されたが幸ひ無事であつた

人力車燒く

一日午前四時四十五分頃市内近江町百四十八番地賀隆增方表に積み上げてあつた薪が燃え上りそばにあつた人力車一臺を燒いたのみで五時鎭火した原因不明で損害は人力車百三十圓その他三十圓である

二階を燒く

一日午前八時十分市内西公園町百五十七番地山本品太郎方より出火木造二階を燒き同四十分頃鎭火した原因は煙突の不完全からで損害

長春車庫小火

一日午後四時五十分長春機車區客車庫ウール室より出火し同ウール室の一部及び客車庫屋根の一部を燒き五時四十五分鎭火した

該客車庫は二十九日午後四時二十五分閉塞されたまゝ何人も出入したことなく原因目下取調中である、損害約一千圓、客車には損傷なし

拳銃の彈が飛び込む

試射中の過失

一日午前十一時半ごろ市内譚家屯不動產會社事務所内詰所に信徒數名がストーブを取りまいて對談中のところへ突然一發の拳銃が撃ち込まれ室内正面の壁に命中し引續いて三發の銃聲が起つたので家人は大に驚きこの旨小崗子署に急報した同署ではスワとばかりに本田司法主任を始めとして各々

藝妓の仕替から詐欺の告訴

市内逢坂町貸座敷野中カネは市内二葉町百八番地藝妓紹介業白井俊三郎、春日町十九番地紹介業草刈方使用人松本武兩名を詐欺罪で大連署司法係に訴へた

告訴人は抱藝妓岡田美佐尾(二四)を濟南に仕替さすべく白井に交渉し白井は松本に一任し濟南日進樓へ千二百圓で仕替へさせたが松本は告訴人に承諾なくその金で桑原つゆ子といふ藝妓を抱へて歸つたので告訴人が其不都合を責めると松本等はつゆ子を奉天へ仕替へさせ二百七十圓入金したのみで爾後屢々請求するも返濟せず詐欺の意志に基くものであるといふにある

安東に流行性腦脊髓膜炎

滿鐵衛生課では先月十三日安東地方事務所管内に幼兒一名の流行性腦脊髓膜炎患者が發生し防疫係では本病が傳染力强烈な且つ死亡率の高いものであるに鑑み患家の消毒及保菌者の檢索等を行ひ其後の經過を注視中であつた所爾來廿六日に一名大和小學校兒童に發生し引續き廿八、九兩日に亘つて又も二名患者が出たので取敢ず現地の防疫作業を遺憾ながらしむるため撫順より衛生技術者を一名安東に急行せしめると共に廿九日夜本社よりも二名の應援を急派した

高飛びする三人組强盗逮捕

既報廿九日午前二時ごろ市内沙河口泰山街七三政記公司毛利號火夫長王美盛(三七)方を襲つた三人組强盗事件について所轄沙河口署では犯人の贓品處分について極力捜査中であつたところ同日午後に至り前日市内日吉町製麻會社苦力夏守橋(三〇)が同家を訪れたことを刑事隊が探知し内偵した結果同人が手引のもとに同會社苦力濫占鰲(三〇)同姜國瑞(三九)同劉金元(三〇)の三名が强盗を行つたこと判明何れも一日出帆の汽船にて靑島方面に高飛びせんとして居るところを刑事隊の大活動によつて午後八時より同十一時半までの間に逮捕し引續き一日朝手引せる夏がまさに高飛びせんとした間一髪のところを逮捕し夏が所持せる贓品全部を悉く押收した

片手に司法係員のもとに現場に驅けつけ附近村落から譚家屯山にかけ約一時間にわたり大捜査を行つた結果、現場より百米突を隔つた振東學社庭園内にて來客の滿鐵埠頭事務所員後藤芳雄氏(二二)が新たに購入したる拳銃ブローニングを試射中過つてその一發が不動產内に飛び込んだのであることが判明した幸に人畜には被害はなかつた

滿洲號獻金

二十九日本社受附の分左の如し

▲拾圓也市内櫻町二九淺野政晟
▲武拾圓市内紀伊町二九高山茂三郎

餞饑義捐金

二十九日本社受付け北海道、東北地方饑饉義捐金は左の如し

▲三十四圓三十七錢 安東醫院

天氣豫報

北西の風(晴)一時曇

二日

各地温度

一日午前十一時 / 昨日の最低

	一日午前十一時	昨日の最低
大連	九、一	零下四、七
旅順	五、〇	同 五、四
營口	五、一	同 九、七
奉天	零下〇、五	同 七、四
長春	同 〇、六	同 一二、四

けふの小洋相場(正午)
百圓は一四九圓八〇錢

(第三種郵便物認可)

武門血笑記 (71)

下村悦夫作　布施長春挿畫

行く春を追ふ者(二)

聽て、酒肴の支度が、召使の者に依つて運ばれた。

と、續いて、絹擦れの音も爽かに現れた女――。

水も滴るやうな大丸髷、色飽くまで白く、眉あと青く剃り落して黒々と鐵漿をつけた、妖艶そのもののやうな奥方風の女！それは白鷺のお蓮であつた。

彼女は透き通るやうな衿足を覗かせながら、臙脂の色も濃い茱萸の實のやうな唇を綻ばせて、歳三に會釋した。

「おゝ、これは〳〵」

流石の歳三も、眩しさうに眼を外らして、主人の顔を見る。

「いや、御遠慮無用、近頃召抱た召使の者でござる。さあ、お蘭、これへ參つてお客人に酌をせよ」

と、主殿はその嚴つい緒顔の頬を何時に無く綻ばせて、上機嫌の様子である。

酒が始まると、今迄の窮苦しい様子と打つて變つて、座が何となく陽氣になつた。それに、二人とも心得てゐると見えて、お蓮の前では天下の機微に關するやうな話を避けてゐるので、自然、話は他愛のない世間話に移る。

「土方氏、貴公、一向に引かぬではないか、さあ、一獻參らう」

「醉人が御氣に召しませいで、お氣の毒でござりますが」

と、此家ではお蘭と名を更へてゐるお蓮が、媚を含んだ目で嫣然笑ひながら、銚子を取り上げた。

「御兩人で挾み打は恐れ入ります」

歳三はもう微醺を帶びてゐる。

「天然理心流の勇者も、酒はから意氣地がない喃」

主殿は餘程の酒豪と見えて、手に持つた盃を、しつきりなしに口に運ぶ。

「理心流と云へば、土方氏、貴公京へ上つてからは、大分斬つただらう、喃」

と、主殿は好きな劍道の話に移る。

「左様、一寸數の分らぬ位」

と、歳三はその男らしい引緒つた顔に、凄い薄笑ひを浮べた。

「手強い奴にも出合つたか」

「二三度位は、が、何んと云つても、一番手強いのは、此頃の洋式の鐵砲と云ふ奴でござるな」

「ほう、鐵砲！」

と、主殿は急に何事かを思ひ出したらしく、お蓮の方を向いて

「この間、お前に買つて上げた、あれを持つて參つて、お目にかけよ」

と、命じた。

お蓮が出て行つて、間もなく持つて來たのは、銀光燦爛たる新式の六連發式拳銃であつた。

「ふむ、これはまた、珍しい新鋭でござるな」

歳三はこの新式の武器を、玩具でも見るやうに、半ば好奇の眼と半ば輕侮の表情で、手に取りながら眺めた。

「此女が、女だてらに欲しいと云ふので、傳を求めて手に入れたのだが」

と、主殿の言葉に、歳三はその瞬間、驚いたやうにチラッと、お蓮の顔を眺めたが、すぐまた主殿の方を向いて

「お試しに、なられましたか」

「一度二度、試みたが、余はさんと駄目ぢや、が、此奴、欲しがるだけあつて、何處で稽古をしたのか、百發百中の名人ぢや」

歳三が、また、お蓮の方へはつと驚きの目を見張る。

と、主殿は――

「土方氏、余も、さんだ護衛の者を見附けたものだ、はつはつはつ……」

主殿は大聲に笑ふ。

「まあ、御前、御笑談を……」

お蓮も、その妖艶な顔を、薔薇の花のやうに綻ばして、笑つた。

源太時雨

また長谷伸原作の三尺物で、やくざもの、愛を描いた日活特作文藝作品、清瀬英次郎監督澤田清主演、鳥羽陽之助、市川小文治、寺島貢、櫻井京子、冬本八重等ら助演、寫眞は澤田清の源太と櫻井京子のお露（次週帝國館前後編同時上映）

キネマ演藝

不二映畫の滿洲配給　峯島氏が契約

不二映畫の滿洲配給權は新興キネマとの提携により大日活の手に歸すものと見られてゐたところ、同映畫の鮮滿配給權は釜山の松竹、河合所長の際本省三氏が獲得し、所員蒲生峰次郎氏が來滿して峰島河合映畫支社長と契約し、第一回配給は同社第二回作品渡邊篤主演「ルンペン餓大盡」第二回配給は同社第三回作品高田稔主演「愛慾の渡止場」と決定した旨發表された

噂話

東活で超スピードを以て製作した「肉彈三勇士」は自由配給だといふので▲同映畫の興行價値百パーセントを狙つて小笠原雷音が昨日の朝急行で内地へ急行したが▲來る五日初日で大阪と同時封切で常盤座に上映の計畫であると▲「一本刀土俵入」でゴールインした帝國館は、近くまた千惠藏物の「國士無双」で滿歡を狙つて早くも宣傳に着手した▲また同館に道二段といふ猛者若松氏が事務員として入り倉重支配人はいよ〳〵その本分に立還つて活躍するとのこと▲不二映畫の配給權問題は早くから二番線作品なら今にもされると言はれてゐたところ、突然一番線契約が發表されセンセーションを起してゐる

西部讀者を優待

今夜沙河口劇場映畫會

鈴木傳明一黨の[illegible]品で近來の傑作[illegible]カメラと共に[illegible]軍吉監督[illegible]渡あり」[illegible]上映され[illegible]この名[illegible]時代劇特作品月形龍之介主演一人二役の「河童又介」及び松竹蒲田ナンセンス映畫古谷久雄主演「落第未遂」の優秀番組で本紙折込みの優待券を持參すれば入場料一般七十錢を四十錢に割引する、なほ同映畫會は今夜一日限りで絶對に日延

上陸後町廻りをなし今夕から大連劇場に出演するが入場料は特等二圓、一等一圓五十錢、二等七十錢小人三十錢であると

本社特選 新棋戰（其九）

香落　八段△花田長太郎
六段▲平野信助

【圖は二七玉迄の局面】

▲平野氏「持駒」金桂歩五ツ

△花田氏「持駒」角香歩歩

▲一五桂	△一六玉
▲二八金	△六八飛
△二七桂成	△一二歩
▲同香	△一三歩
▲同香	△一四歩
▲同香	△二五玉
▲一九香成	△六六飛
▲四五成銀	△四七香

【土居八段講評】△花田君は敵は攻撃力が薄い故飽迄指し切り模様に導く意の下に六八飛と自重したのは好い▲此時平野君はよく手懸りを保ちつゝ敵玉を左翼へ壓迫したのは共に好い方法である。

【荻原六段解説】平野氏の一五桂は一七歩と成つても同香と取られて面白くないので敵玉を狹くする意に一五桂と打つたのである。平野氏の二八金は重い様だが自玉が强固な處へ敵玉が狹いので駒を得る意と先手に三九銀を創いたのである。平野氏の二七桂成で三六成銀と寄つてゐると敵に一二歩と打たれ同香、一三歩、同香、一四歩、同香、二五玉、三五成銀、一四香、一三歩、一五玉一九金、一六玉と指されて面白くないので二七桂と成つたのである花田氏の六六飛は直ちに六一飛と成るよりも一旦六六飛と出て次に四七香打の順を作り敵の成銀を五五に寄らして手順に六一飛となつたのは四七香が幾分でも攻防に利くことになるので六六飛と一旦指したのである。

土建材料早くも二割前後の値上り

滿洲工事界の繁忙を見越してなほ一般に先高豫想

金輸出禁止による一般物價の騰貴歩調、銀價の暴騰並に滿洲事變一段落を告げ新國家の建設近きにあり諸種の建設工事も解氷早々より着手せられんとし、その需要見越等より大連の土木建築材料は結氷中にて、一般需要休止期にあるにも拘らず殆ど二割前後の昂騰を示して居り、例年よりその昂騰時期を早め、解氷期の工事着手時期に入れば需給關係により一層昂騰するものと一般に先高を豫想されてゐる、主要工事材料につきこれを見るに大體左の如くである

△石材及砂　昨年は滿洲土建界未曾有の不況に需要激減の結果、十二月初旬にあつては採掘費を割る狀態であつたが金再禁止後漸次昂騰し砂の五割高一坪十五圓を始めとして粗石、碎石　花崗石共三割以上の昂騰を見せてなり、需要休止期にかくて斯くの如く騰貴を示したのは全く異例で、需要期に入れば益々昂騰するものと見られてゐる

△木材　最も需要の多い北滿及吉林の白松、紅松は銀價の昂騰により昨年末に比し約二割以上、米松は圓爲替暴落により三割以上、その他の木材に於ても各々二割前後の騰貴を示してゐるが、これで昨秋の滿洲事變突發以來需要激增により　一昨年來のストックを一掃したと、氣溫の關係により木材搬出不能にて品薄となりたる爲めと見られ需要期に入れば更に一割前後の騰貴を示すものと見られてゐる

△鐵材　鐵材は近年低落の一路を辿つてゐたが英國の金本位一時停止による磅貨の下落により、その落調を益々早めたが、我が國の再禁止により二割乃至三割高を唱へ、引續き昂騰氣配であつたが、磅爲替の惡化による英本國安で現在は標準物丸鐵鋼當五十三圓、角鐵五十二圓、鐵板六十三圓前後で保合つてゐるが、これまた周圍の環境より先高と見られてゐる

△煉瓦　業界の不況による五年度よりの持越しストックに加へ生産過剩で一等品六厘、二等品五厘、三等品四厘五毛と未曾有の安値を示してゐたが、昨年來の銀高で漸次持直し二月下旬の價格は一等品九厘、二等品八厘、三等品七厘前後となり昨年に比し約五割の騰貴を見てゐる

本年工事界の豫想から推測すれば需要期に至れば尚一厘高の一等品一錢、二等品九厘、三等品八厘位の値頃ではないかと見る向が多い

其他主要土建材料も殆ど二割前後の昂騰を示しセメントは一袋（五十瓩入）一圓十五錢のものが二月下旬に於ては一圓三十錢となり、なほ先高氣配を見せ、硝子は爲替關係銀高により昨年來の四等品並板（三十八枚入）一箱五圓より二月下旬には五圓八十錢と騰貴し塗料其他に於ても約一割五分乃至二割前後の昂騰を示してゐる

增資問題に關する具體案を提げて

江口副總裁ら近く上京

總選擧終了後中央政情の安定を俟つて資金問題、新規事業計畫その他滿鐵當面の重要案件に對する中央政府並に大株主方面への具體的說明のため江口副總裁並に總理部首腦等の上京をみることは總裁歸任當時より時機の問題とされ注目されてゐたが新規社債發行、未拂込徵收その他所謂增資問題等に對する最高首腦部大綱方針は來月末の重役會議において愈々具體的決定を見るに至つたもの如く、江口副總裁及び首藤總理部長は右具體案を攜へて多分五日出帆ばいかる丸にて東上することゝなるべく首藤理事は上京後政府の方針決定をまつて主としてシンジケート銀行團方面との折衝をなす筈で、新規社債（發行餘力六千萬圓）は適當の時機に發行する方針であるが金融市場の狀勢並に未拂込徵收問題等の中央における推移如何によつては特殊會社としての定款の明文に則り未拂込額および社債發行餘力もその儘として政府と直に增資問題の具體協議を開始するのではないかと觀られてゐる

軍事公債の發行

日銀又は市場公募か　預金部に引受能力なし

【東京一日發】第三回緊急處分による二千二百萬圓の軍事公債は預金部に於て引受能力を調査中であつたが再度の緊急處分赤字補塡公債並に明年度新規公債等旣に二億六千餘萬圓の公債引受を決定せる上に最近郵貯の增加率が鈍つてゐるので到底この上公債引受の餘力なしといふ事に決定した、從つて今回の二千二百萬圓は日本銀行引受け又は市場公募の方法に依つて發行するの外なき事となつた

東支の特產物輸送概況

本年度、相當良好

【ハルビン特電二十九日發】本年一月分の東支東南行輸送數量一覽表は左の如くで東行八%餘の優勢を示してゐるが、これを本年度會計年度（六年四月以降）による東南行比について見れば南行一%の優勢を示してゐる、卽ち前年一月末の會計年度東南行比は南行僅か三十一%にすぎず約三十八%の劣勢を示しまた總輸送數量から見るも本年は東南行合せて約四十三萬噸の增加を來してなり本年度の東支特產物の輸送概況は相當良好と見ればならぬ

	東行	南行
（但し一噸以下切捨）		
大豆	九〇、四四	六、二九
豆粕	七、六〇	一、八六
豆油	四一	三、四九
其他	三、九三	二四、一〇
計	一〇、四〇	三七、五〇
出廻年度による累計（一月末迄）		
會計年度	六〇三、三九〇	
	一、〇一八、七四	一、〇四三、一四

豆粕飼料化關係者の滿蒙視察團一行

三日入港の定期船で來連

滿鐵商工課主催の豆粕飼料化關係者の滿蒙視察團一行十一名は來る三日入港の定期船で來連するが、同日は埠頭、油房、取引所、中央試驗所、碧山莊、滿蒙資源館、工業博物館等を視察見學、四日は午前中地方部と諸般の打ち合せをなし、午後二時より特產三團體主催の豆粕飼料化講演會にのぞみ、午後四時より大豆工業研究會主催の座談會に出席、五日旅順訪問、六日まで滯在のうへ七日より營口、奉天、撫順、公主嶺、長春、ハルビン等を視察、十三日安東經由歸國の豫定である、しかして右視察團は滿鐵が豆粕飼料化試驗を委託せる各縣の主任技師で左の通りである

職	氏名
群馬縣技師	久合田米三郎
兵庫縣技師	牧野亮一
廣島縣技師	長崎陟
香川縣技師	柳本直士
宮崎縣技師	荻野伸
山口縣技師	中島周藏
愛知縣技師	金井眞澄
立川養豚場長	成松靜雄
全國購買組合聯合會主事	井關善一
外滿鐵社員二名	

ロンドンの日支公債騰貴

平和交涉開始可能の入報で

【ロンドン二十九日發】二十九日のロンドン株式取引所に於て日支兩國公債は日支交戰して平和交涉開始の可能性ありとの報道に何れも半ポイント乃至一ポイント方騰貴した

鈔票急落

引上圓度に

今朝日米爲替第一回第二回とも三十二弗四分の三と四分の三高、第三回に八分の一弗八十七仙の暴騰、米日も三十三弗十八仙と一弗八十七仙の暴騰を入れたる一方、上海時局益々好轉の情勢に當市二圓二十錢安の七十七圓丁度に寄り、七十六圓十錢まで押し、引け七圓丁度といふ急落振りであつた、海外銀塊は區々標金崩保合、なほ目先は爲替續騰見越しと上海時局解決見込みに一般に一段の安値ありと見てゐる

黃塵

◇…金を持つて居て苦惱するといふと一見不思議に聞こえるが現にその實例をアメリカに於て見ることが出來る

◇…國內に黃金が有餘る程あれば通貨が膨脹して諸物價が騰貴するのが經濟界の常道とされて居るがその反對の現象を如實に示して居るのが米國の現狀である

◇…世界中の黃金の半分をかき集めてゐても之を死藏して極力通貨の膨脹を抑制して居る爲め國內の諸物價は騰るどころか反つて安い。

◇…而して鐵工業でも自動車製造業でも何でもかでも國內產業は悉く不振の狀態を續けて居る。

◇…そこで種々な產業振興策を試みて見たが一つとして豫期した

北滿各鐵道沿線主要驛の穀物在貨量【二月中旬】

西部線は著しい減少振り

二月中旬における北滿各鐵道沿線主要驛穀物在貨噸數は左の如くであるが、二月上旬に比較すれば總噸數において五萬六千餘噸の減少を示し、特に減少の著るしいものは西部線で約十三萬四千噸の減少である

	大豆	其他	計
ハルビン區	六七、〇〇〇	五三、〇〇〇	一二〇、〇〇〇
▲西部線			
昂々溪	二、五〇〇	三、〇〇〇	五、五〇〇
安達	二三、〇〇〇	六、三六〇	二九、三六〇
滿溝	一四、四七〇	二七、六八〇	四二、一五〇
其他	二七、〇〇〇	—	二七、〇〇〇
小計	六六、九七〇	三七、〇四〇	一〇四、〇一〇
▲東部線			
阿什河	二、八〇〇	二五〇	三、〇五〇
烏吉密河	一二三、九三〇	一二〇	一二四、一五〇
一面坡	二一、〇〇〇	—	二一、〇〇〇

大連商議主催の滿蒙問題座談會（上）

日滿經濟同盟の提唱

大連商議主催のもとに二十九日ヤマトホテルで日本商工會議所主催の滿蒙經濟視察團員と會同し催された座談會の梗概は左の如くである

●村井大連商議會頭　關稅問題、中小工業問題その他廣汎に亘つて重要な問題が澤山御注文の話題として出されてゐますが、遺憾ながらホンの短時間ですから、主として資本の招致策、產業の統制、移民問題といふやうなことについてお話合ひしたら如何なものでせう、もつともこれらは甚だ重要であるだけになかなかむづかしい問題ですが

●大塚東京商議副會頭　團長として各方面で大變お世話になつたことを感謝してます……日本商議としての對策を樹てることが出來たら幸甚だと思つてやつて參りました、折角いろいろご高說を承はりたいと思ひます

●村井會頭　田村君なにか、どうぞ

●田村大連商議副會頭　產業政策について所感を一言申述べます、滿洲においては今や產業の大改革が行はれんとし全く新たなる經濟機構へ踏出さうとしてゐるので新國家、日本側の双方とも先づ新らしい目で見直しハツキリと向ふ道を見極めてかゝられねばならぬと感ぜずにはゐられません、さて滿洲では從來多